

**【表紙】**

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2019年5月10日提出
【発行者名】	U B S アセット・マネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 三木 桂一
【本店の所在の場所】	東京都千代田区大手町一丁目5番1号 大手町ファーストスクエア
【事務連絡者氏名】	佐井 経堂
【電話番号】	03-5293-3667
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	U B S D C コア戦略ファンド
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	5,000億円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

## 第一部【証券情報】

### （１）【ファンドの名称】

UBS DCコア戦略ファンド（以下「ファンド」といいます。）

当ファンドは、確定拠出年金法に基づく確定拠出年金制度の拠出金を運用するための専用ファンドです。取得申込者は、確定拠出年金法に定める加入者などの運用の指図に基づいて取得の申込みを行なう資産管理機関および国民年金基金連合会等に限るものとします。

### （２）【内国投資信託受益証券の形態等】

- ・追加型証券投資信託受益権です。（以下「受益権」といいます。）
  - ・信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供された信用格付、または信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供される予定の信用格付はありません。
- ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後述の「（11）振替機関に関する事項」に記載の振替機関および当該振替機関の下位の口座管理機関（社債、株式等の振替に関する法律第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。）の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。委託会社は、やむを得ない事情などがある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

### （３）【発行（売出）価額の総額】

5,000億円を上限とします。

### （４）【発行（売出）価格】

取得申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

- ・基準価額につきましては、販売会社または「（８）申込取扱場所」の照会先にお問い合わせください。

### （５）【申込手数料】

販売会社が定めるものとします。申込手数料率につきましては、販売会社または「（８）申込取扱場所」の照会先にお問い合わせください。

- ・有価証券届出書提出日現在、販売会社における申込手数料はありません。

### （６）【申込単位】

販売会社が独自に定める単位とします。

詳しくは、販売会社または「（８）申込取扱場所」の照会先にお問い合わせください。

### （７）【申込期間】

2019年5月11日から2019年11月13日までとします。

- ・上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。

### （８）【申込取扱場所】

販売会社につきましては、委託会社の照会先にお問い合わせください。

## 委託会社の照会先

&lt;UBSアセット・マネジメント株式会社&gt;

ホームページアドレス：<http://www.ubs.com/japanfunds/>

電話番号：03-5293-3700（営業日の9:00-17:00）

## ( 9 ) 【払込期日】

- ・取得申込者は、申込金額を販売会社が指定する期日までに販売会社に支払うものとします。
- ・申込期間における各取得申込受付日の発行価額の総額（設定総額）は、販売会社によって、追加設定が行なわれる日に委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払い込まれます。

## ( 10 ) 【払込取扱場所】

申込金額は、販売会社にお支払いいただきます。

## ( 11 ) 【振替機関に関する事項】

振替機関は、株式会社証券保管振替機構とします。

## ( 12 ) 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【ファンド情報】

### 第1【ファンドの状況】

#### 1【ファンドの性格】

##### （1）【ファンドの目的及び基本的性格】

###### ファンドの目的

主として、「UBSディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に世界各国の株式および債券などの異なる複数の資産クラスの投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券、もしくは投資証券、投資法人債券または外国投資証券をいいます。以下同じ。）へ投資し、日本を含む世界の複数の資産クラスに資産配分を行うことで、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。

###### ファンドの基本的性格

###### 1) 商品分類

単位型投信・追加型投信	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
単位型投信	国内	株式
	海外	債券
追加型投信		不動産投信
	内外	その他資産 ( )
		資産複合

（注）当ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。

###### 2) 属性区分

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式 一般 大型株 中小型株	年1回 年2回 年4回	グローバル (含む日本) 日本 北米		
債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 ( )	年6回 (隔月) 年12回 (毎月)	欧州 アジア オセアニア	ファミリーファンド	あり (部分ヘッジ)
不動産投信	日々 その他 ( )	中南米 アフリカ	ファンド・オブ・ ファンズ	なし
その他資産 (投資信託証券(資産 複合(株式・債券) (資産配分変更 型)))		中近東 (中東) エマージング		
資産複合 ( ) 資産配分固定型 資産配分変更型				

(注) 当ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替変動リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用されます。このため、組入れている資産を示す属性区分上の投資対象資産（その他資産(投資信託証券(資産複合(株式・債券)(資産配分変更型)))）と収益の源泉となる資産を示す商品分類上の投資対象資産（資産複合）とが異なります。

#### <商品分類の定義>

##### 1. 単位型投信・追加型投信の区分

- (1) 単位型投信：当初、募集された資金が一つの単位として信託され、その後の追加設定は一切行われのないファンドをいう。
- (2) 追加型投信：一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいう。

##### 2. 投資対象地域による区分

- (1) 国内：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (2) 海外：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (3) 内外：目論見書又は投資信託約款において、国内及び海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。

##### 3. 投資対象資産による区分

- (1) 株式：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (2) 債券：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (3) 不動産投信(リート)：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券及び不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいう。

- (4)その他資産：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に上記(1)から(3)に掲げる資産以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。なお、その他資産と併記して具体的な収益の源泉となる資産の名称記載も可とする。
- (5)資産複合：目論見書又は投資信託約款において、上記(1)から(4)に掲げる資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。

#### 4. 独立した区分

- (1)MMF(マネー・マネージメント・ファンド)：「MMF等の運営に関する規則」に定めるMMFをいう。
- (2)MRF(マネー・リザーブ・ファンド)：「MMF等の運営に関する規則」に定めるMRFをいう。
- (3)ETF：投資信託及び投資法人に関する法律施行令(平成12年政令480号)第12条第1号及び第2号に規定する証券投資信託並びに租税特別措置法(昭和32年法律第26号)第9条の4の2に規定する上場証券投資信託をいう。

#### < 補足として使用する商品分類 >

- (1)インデックス型：目論見書又は投資信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨の記載があるものをいう。
- (2)特殊型：目論見書又は投資信託約款において、投資者に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいう。なお、下記の属性区分で特殊型の小分類において「条件付運用型」に該当する場合には当該小分類を括弧書きで付記するものとし、それ以外の小分類に該当する場合には当該小分類を括弧書きで付記できるものとする。

#### < 属性区分の定義 >

##### 1. 投資対象資産による属性区分

###### (1)株式

- 一般：次の大型株、中小型株属性にあてはまらない全てのものをいう。
- 大型株：目論見書又は投資信託約款において、主として大型株に投資する旨の記載があるものをいう。
- 中小型株：目論見書又は投資信託約款において、主として中小型株に投資する旨の記載があるものをいう。

###### (2)債券

- 一般：次の公債、社債、その他債券属性にあてはまらない全てのものをいう。
- 公債：目論見書又は投資信託約款において、日本国又は各国の政府の発行する国債(地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を含む。以下同じ。)に主として投資する旨の記載があるものをいう。
- 社債：目論見書又は投資信託約款において、企業等が発行する社債に主として投資する旨の記載があるものをいう。
- その他債券：目論見書又は投資信託約款において、公債又は社債以外の債券に主として投資する旨の記載があるものをいう。
- 格付等クレジットによる属性：目論見書又は投資信託約款において、上記 から の「発行体」による区分のほか、特にクレジットに対して明確な記載があるものについては、上記 から に掲げる区分に加え「高格付債」「低格付債」等を併記することも可とする。

###### (3)不動産投信

これ以上の詳細な分類は行わないものとする。

###### (4)その他資産

組入れている資産を記載するものとする。

###### (5)資産複合

以下の小分類に該当する場合には当該小分類を併記することができる。

- 資産配分固定型：目論見書又は投資信託約款において、複数資産を投資対象とし、組入比率については固定的とする旨の記載があるものをいう。なお、組み合わせている資産を列挙するものとする。
- 資産配分変更型：目論見書又は投資信託約款において、複数資産を投資対象とし、組入比率については、機動的な変更を行なう旨の記載があるものもしくは固定的とする旨の記載がないものをいう。なお、組み合わせている資産を列挙するものとする。

##### 2. 決算頻度による属性区分

- 年1回：目論見書又は投資信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいう。
- 年2回：目論見書又は投資信託約款において、年2回決算する旨の記載があるものをいう。
- 年4回：目論見書又は投資信託約款において、年4回決算する旨の記載があるものをいう。
- 年6回(隔月)：目論見書又は投資信託約款において、年6回決算する旨の記載があるものをいう。
- 年12回(毎月)：目論見書又は投資信託約款において、年12回(毎月)決算する旨の記載があるものをいう。

日々：目論見書又は投資信託約款において、日々決算する旨の記載があるものをいう。

その他：上記属性にあてはまらない全てのものをいう。

### 3. 投資対象地域による属性区分(重複使用可能)

グローバル：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。なお、「世界の資産」の中に「日本」を含むか含まないかを明確に記載するものとする。

日本：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

北米：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

欧州：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が欧州地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

アジア：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本を除くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

オセアニア：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がオセアニア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

中南米：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が中南米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

アフリカ：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がアフリカ地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

中近東(中東)：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が中近東地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

エマージング：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がエマージング地域(新興成長国(地域))の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

### 4. 投資形態による属性区分

ファミリーファンド：目論見書又は投資信託約款において、親投資信託(ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除く。)を投資対象として投資するものをいう。

ファンド・オブ・ファンズ：「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズをいう。

### 5. 為替ヘッジによる属性区分

為替ヘッジあり：目論見書又は投資信託約款において、為替のフルヘッジ又は一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるものをいう。

為替ヘッジなし：目論見書又は投資信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるもの又は為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいう。

### 6. インデックスファンドにおける対象インデックスによる属性区分

日経225

TOPIX

その他の指数：前記指数にあてはまらない全てのものをいう。

### 7. 特殊型

ブル・ベア型：目論見書又は投資信託約款において、派生商品をヘッジ目的以外に用い、積極的に投資を行うとともに各種指数・資産等への連動若しくは逆連動(一定倍の連動若しくは逆連動を含む。)を目指す旨の記載があるものをいう。

条件付運用型：目論見書又は投資信託約款において、仕組債への投資またはその他特殊な仕組みを用いることにより、目標とする投資成果(基準価額、償還価額、収益分配金等)や信託終了日等が、明示的な指標等の値により定められる一定の条件によって決定される旨の記載があるものをいう。

ロング・ショート型/絶対収益追求型：目論見書又は投資信託約款において、特定の市場に左右されにくい収益の追求を目指す旨若しくはロング・ショート戦略により収益の追求を目指す旨の記載があるものをいう。

その他型：目論見書又は投資信託約款において、上記 から に掲げる属性のいずれにも該当しない特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいう。

上記は、一般社団法人投資信託協会が定める分類方法に基づき記載しています。また、商品分類および属性区分の定義は一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」を基に委託会社が作成したものです。なお、一般社団法人投資信託協会のホームページ(<http://www.toushin.or.jp/>)でもご覧頂けます。

## ファンドの特色

## 1 実質的に世界各国の幅広い資産クラスに分散投資し、中長期的な安定収益の確保を目標としたポートフォリオの構築を目指します。

- ・「UBSディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド」を通じ、実質的に世界の株式や債券に幅広く分散投資を行います。

## 2 市場環境に応じた機動的な運用を行います。

- ・アセット・アロケーション（株式、債券、絶対リターン追求型<sup>※</sup>、キャッシュ）。
- ・アセットクラス内（地域別、各通貨別配分比率の調整や個別銘柄選択など）。
- ・通貨（オーバーレイおよび円ヘッジ）。

※特定の市場に左右されにくい収益の追及を目指す運用を行います。

## 3 為替変動リスクの低減を図ります。

- ・基本的なヘッジ比率は70%（円資産投資部分も含みます。）
- ・ヘッジ比率のレンジは30-100%（円資産投資部分も含みます。）とします。

運用対象資産	投資対象資産	基本資産配分※	資産配分レンジ	
			最小	最大
	株式	25%	0%	40%
	日本株式	2%		
	米国株式	12%		
	欧州株式	8%		
	新興国株式	3%		
	債券	50%	20%	100%
	国債	25%		
	社債	15%		
	ハイ・イールド	5%		
	新興国債券	5%		
絶対リターン追求型	25%	0%	40%	
日本円	70%	30%	100%	
※基本資産配分については定期的に見直します。				
為替ヘッジ	基本的なヘッジ比率は70%（円資産投資部分も含みます。）			
運用手法	アクティブ運用			



## ◎ 運用プロセス



2019年2月末現在

## ◎ ファンドの仕組み

[ファミリーファンド方式によるファンド・オブ・ファンズについて]

当ファンドは「UBSディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド」を親投資信託（マザーファンド）とするファミリーファンド方式によるファンド・オブ・ファンズで運用します。

- ・「ファミリーファンド方式」とは、投資者がその資金をベビーファンドに投資し、ベビーファンドがその資金を主としてマザーファンドに投資し、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。
- ・また、マザーファンドを通じて、世界各国の株式・債券等を投資対象とする投資信託証券に投資を行う「ファンド・オブ・ファンズ」でもあります。



※マザーファンドの運用にあたっては、UBSアセット・マネジメント(香港)リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。

- ・委託先名称：UBSアセット・マネジメント(香港)リミテッド  
 (UBS Asset Management (Hong Kong) Limited)
- ・委託の内容：有価証券等および通貨の運用

- ・投資対象とする主な投資信託証券は、後述「運用実績」の「主要な資産の状況」または「追加的記載事項」の「投資対象とする投資信託証券の概要」をご参照ください。

※市場環境や運用状況等により対象となる投資信託証券等は随時見直します。

## ◎ 分配方針

毎決算時（毎年8月10日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。

- ・ 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。以下同じ）と売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額をいいます。）等の全額とします。
- ・ 収益分配金額は、分配対象額の範囲内で、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、委託会社の判断で、分配を行わない場合があります。
- ・ 収益の分配にあてなかった利益の運用については特に制限を定めず、運用の基本方針に基づき元本部分と同一の運用を行います。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※分配金は税引後無手数料で再投資されます。

## ◎ 主な投資制限

投資信託証券への実質投資割合	制限を設けません。
株式への直接投資	行いません。
外貨建資産への実質投資割合	制限を設けません。
同一銘柄の投資信託証券への実質投資割合	当該投資信託証券が一般社団法人投資信託協会の規則に定めるエクスポージャーがルックスルーできる場合に該当しないときには、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率	原則として、それぞれ純資産総額の10%、合計で20%以内とします。

資金動向、信託財産の規模、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

### 信託金限度額

- ・ 5,000億円を限度として信託金を追加することができます。
- ・ 委託会社は受託会社と合意のうえ、当該限度額を変更することができます。

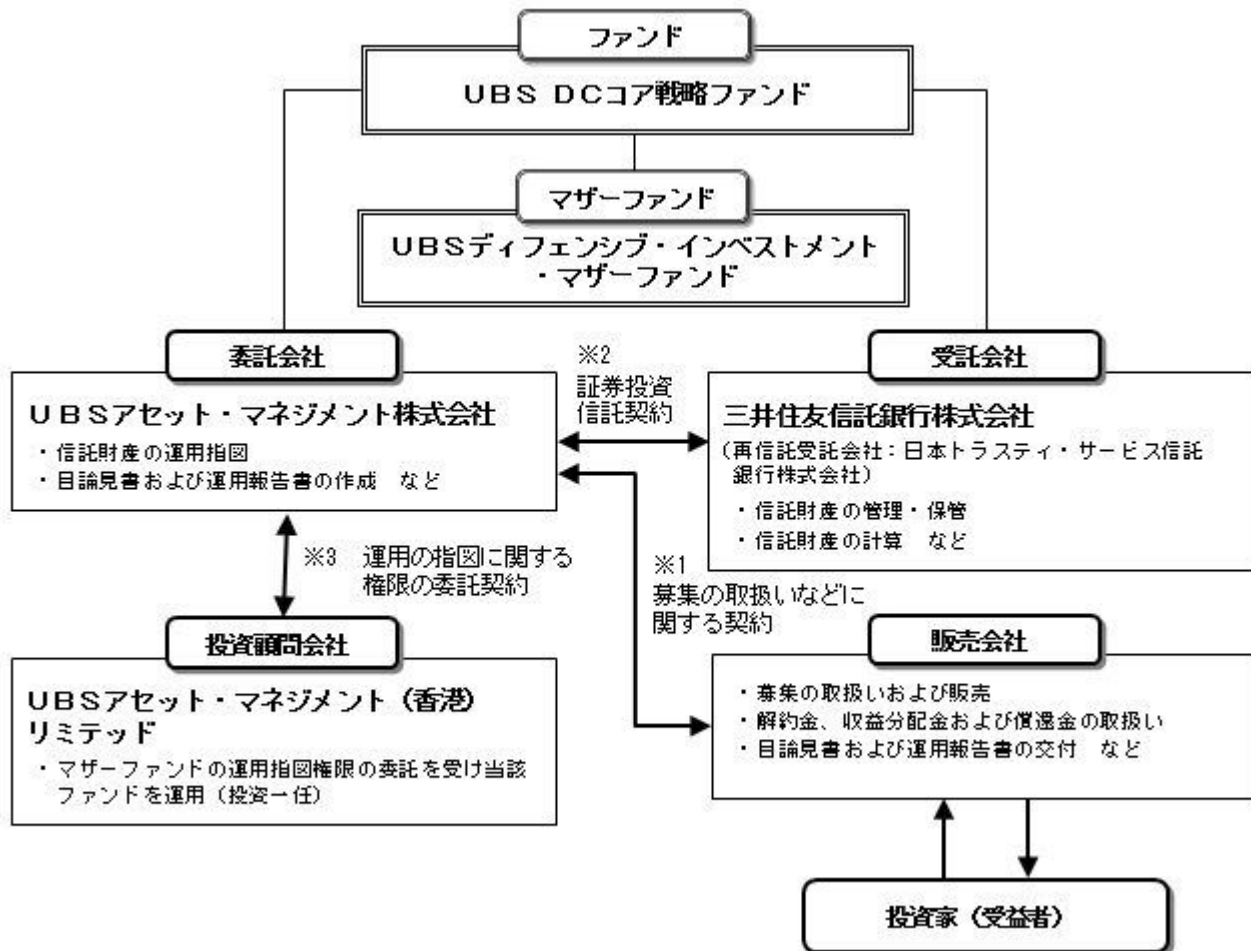
## （２）【ファンドの沿革】

2015年 8月18日

・ファンドの信託契約締結、運用開始

## (3) 【ファンドの仕組み】

ファンドの仕組み



- 1 投資信託を販売するルールを委託会社と販売会社の間で規定したものの。販売会社が行なう募集の取扱い、収益分配金・償還金の支払い、解約請求の受付の業務範囲の取決めの内容などが含まれています。
- 2 投資信託を運営するルールを委託会社と受託会社の間で規定したものの。運用の基本方針、投資対象、投資制限、信託報酬、受益者の権利、募集方法の取決めの内容などが含まれています。
- 3 投資顧問会社に運用の指図に関する権限を委託するにあたり、そのルールを委託会社と投資顧問会社との間で規定したものの。委託する業務内容、報酬の取決めの内容などが含まれています。

当ファンドは、ファミリーファンド方式によるファンド・オブ・ファンズで運用を行います。

<ファミリーファンド方式によるファンド・オブ・ファンズについて>

当ファンドは「UBSディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド」を親投資信託（マザーファンド）とするファミリーファンド方式によるファンド・オブ・ファンズで運用します。

- ・「ファミリーファンド方式」とは、投資者がその資金をペビーファンドに投資し、ペビーファンドがその資金を主としてマザーファンドに投資し、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。
- ・また、マザーファンドを通じて、世界各国の株式・債券等を投資対象とする投資信託証券に投資を行う「ファンド・オブ・ファンズ」でもあります。



※マザーファンドの運用にあたっては、UBSアセット・マネジメント(香港)リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。

- ・委託先名称：UBSアセット・マネジメント(香港)リミテッド  
(UBS Asset Management (Hong Kong) Limited)
- ・委託の内容：有価証券等および通貨の運用

委託会社の概況（2019年2月末現在）

### 1) 資本金

2,200百万円

### 2) 沿革

- 1996年4月1日：ユー・ビー・エス投資顧問株式会社設立
- 1998年4月28日：ユー・ビー・エス投信投資顧問株式会社に商号変更
- 2000年7月1日：ユービーエス・プリンソン投資顧問株式会社と合併し、ユービーエス・アセット・マネジメント株式会社に商号変更
- 2002年4月8日：ユービーエス・グローバル・アセット・マネジメント株式会社に商号変更
- 2015年12月1日：UBSアセット・マネジメント株式会社に商号変更

### 3) 大株主の状況

名称	住所	所有株数	所有比率
UBSアセット・マネジメント・エイ・ジー	スイス国 チューリッヒ市 CH-8001 バーンホフストラッセ 45	21,600株	100%

## 2【投資方針】

### (1)【投資方針】

主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界各国の株式および債券などの異なる複数の資産クラスの投資信託証券に投資を行います。

複数の異なる資産クラスの投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）に複数投資することで、実質的に世界各国の株式および債券の市場に幅広く分散されたポートフォリオを構築します。

各資産の資産配分(アセット・アロケーション)にあたっては、株式、債券、絶対収益追求型運用への基本配分（および目標とするアロケーション・レンジ）をそれぞれ、25%（0-40%）、50%（20-100%）、25%（0-40%）といたしますが、投資価値の分析結果と市場乖離の度合いの分析結果をベースとして、市場動向等の定性判断を考慮のうえ、機動的な運用を目指します。

実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として円に対して為替ヘッジを行います。基本的なヘッジ比率は70%（円資産投資部分も含む）、ヘッジ比率のレンジは30-100%（円資産投資部分も含む）とします。

マザーファンドが投資を行う指定投資信託証券は、定期的または必要に応じて精査し、定性的および定量的評価等を考慮のうえ適宜見直しを行います。その結果、必要と判断される場合には、指定投資信託証券として指定されていたものが除外される、または新たに主として有価証券に投資する投資信託証券等（ファンド設定時以降に設定された投資信託証券を含みます。）として指定投資信託証券に指定される場合があります。

マザーファンド受益証券の組入れについては高位を維持することを基本とします。

資金動向、信託財産の規模、市況動向等によっては、上記の運用が出来ない場合があります。

## （２）【投資対象】

### <UBS DCコア戦略ファンド>

親投資信託である「UBSディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド」（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。

投資の対象とする資産の種類

この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）および特定資産以外の資産とします。

#### 1）特定資産

イ）有価証券

ロ）約束手形（金融商品取引法第2条第1項15号に掲げるものを除きます。）

ハ）金銭債権

#### 2）次に掲げる特定資産以外の資産

イ）為替手形

有価証券の指図範囲

委託会社は、信託金を、主としてUBSアセット・マネジメント株式会社を委託会社とし、三井住友信託銀行株式会社を受託者として締結された親投資信託であるUBSディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド受益証券および次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図します。

1）短期社債等

2）コマーシャル・ペーパー

3）外国または外国のものの発行する証券または証書で、1）～2）の証券または証書の性質を有するもの

4）外国法人が発行する譲渡性預金証書

5）指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

金融商品の指図範囲

委託会社は、信託金を、 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用指図することができます。

1）預金

2）指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）

3）コール・ローン

4）手形割引市場において売買される手形

この信託の設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託会社が運用上必要と認めるときには、委託会社は、信託金を、上記に掲げる金融商品により運用することの指図ができます。

その他の投資対象と指図範囲

外国為替予約の指図、資金の借入を行うことができます。

### <UBSディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド>

世界各国の株式および債券といった異なる複数の資産クラスの投資信託証券を主要投資対象とします。

投資の対象とする資産の種類

この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）および特定資産以外の資産とします。

#### 1）特定資産

イ）有価証券

ロ）約束手形（金融商品取引法第2条第1項15号に掲げるものを除きます。）

## 八) 金銭債権

## 2) 次に掲げる特定資産以外の資産

## イ) 為替手形

## 有価証券の指図範囲

委託会社（約款第16条の2に規定する委託会社から運用の指図に関する権限の委託を受けたものを含みません。）は信託金を、主として別に定める投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）、ならびに次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図します。

## 1) 短期社債等

## 2) コマーシャル・ペーパー

## 3) 外国または外国のものの発行する証券または証書で、1)～2)の証券または証書の性質を有するもの

## 4) 外国法人が発行する譲渡性預金証書

## 5) 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

## 金融商品の指図範囲

委託会社は、信託金を、 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用指図することができます。

## 1) 預金

## 2) 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）

## 3) コール・ローン

## 4) 手形割引市場において売買される手形

この信託の設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託会社が運用上必要と認めるときには、委託会社は、信託金を、上記に掲げる金融商品により運用することの指図ができます。

## その他の投資対象と指図範囲

外国為替予約の指図を行うことができます。

## 投資対象とするマザーファンドの概要

## &lt;UBSディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド&gt;

運用の基本方針	
基本方針	この投資信託は、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主な投資対象	世界各国の株式および債券といった異なる複数の資産クラスの投資信託証券を主要投資対象とします。

投資方針	<p>主として世界各国の株式および債券といった異なる複数の資産クラスの投資信託証券に投資を行います。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。</p> <p>複数の異なる資産クラスの別に定める投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）に複数投資することで、世界各国の株式および債券の市場に幅広く分散されたポートフォリオを構築します。</p> <p>各資産の資産配分（アセット・アロケーション）にあたっては、株式、債券、絶対収益追求型運用への基本配分（および目標とするアロケーション・レンジ）をそれぞれ、25%（0-40%）、50%（20-100%）、25%（0-40%）といたしますが、投資価値の分析結果と市場乖離の度合いの分析結果をベースとして、市場動向等の定性判断を考慮のうえ、機動的な運用を目指します。</p> <p>外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として円に対して為替ヘッジを行います。基本的なヘッジ比率は70%（円資産投資部分も含む）、ヘッジ比率のレンジは30-100%（円資産投資部分も含む）とします。</p> <p>指定投資信託証券は、定期的または必要に応じて精査し、定性的ならびに定量的評価等を考慮のうえ適宜見直しを行います。その結果、必要と判断される場合には、指定投資信託証券として指定されていたものが除外される、または新たに主として有価証券に投資する投資信託証券等（ファンド設定時以降に設定された投資信託証券を含みます。）として指定投資信託証券に指定される場合があります。</p> <p>UBSアセット・マネジメント（香港）リミテッドに、運用の指図に関する権限を委託します。</p> <p>資金動向（大口解約等）、信託財産の規模、市況動向等によっては、上記の運用が出来ない場合があります。</p>
主な投資制限	<p>投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>株式への直接投資は、行いません。</p> <p>外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p>
収益分配	収益分配は行いません。
<b>ファンドに係る費用</b>	
信託報酬	ありません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用など	<p>組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税など。</p> <p>上記費用に付随する消費税等相当額を含みます。</p>
<b>その他</b>	
委託会社	UBSアセット・マネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社

## &lt; 指定投資信託証券の概要 &gt;

指定投資信託証券の名称	UBS（Lux）ボンド・シキャブ- USドル・コーポレート(USD)
運用の基本方針	Bloomberg Barclays US Corporate Investment Gradeインデックスを超える収益の獲得を目指します。
主要な投資対象	主として米国の社債などに投資します。

管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          受託報酬及び管理事務代行報酬：          純資産総額に対して年率0.065%以内          信託財産留保額：なし</p> <p>当ファンドに関しましては、設定もしくは解約時における基準価額の可変調整が行われることがあります。当可変調整は設定・解約の投資行動に該当する投資家にのみ適用されるため、既存の受益者は資金の流入入による基準価額変動の影響を受けません。</p> <p>その他費用：ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
その他留意点	<p>指定外国投資信託では、解約申込日における解約金総額が当該ファンドの純資産総額10%超となった場合等において、解約申込を制限する場合があります。</p>
投資運用会社	UBSアセット・マネジメント(アメリカス)インク

指定投資信託証券の名称	db x-トラックーズ db ヘッジ・ファンド・インデックス UCITS ETF
運用の基本方針	db ヘッジ・ファンド指数に連動することを目指します。
主要な投資対象	主としてdb ヘッジ・ファンド指数に連動するスワップ等のデリバティブ等へ投資します。
管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          受託報酬及び管理事務代行報酬：          純資産総額に対して年率0.90%以内          信託財産留保額：なし          インデックス関連費用：0.23%</p> <p>その他費用：ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
投資運用会社	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ・リミテッド

指定投資信託証券の名称	UBS (Lux) エクイティ・シキャブ - ヨーロピアン・オポチュニティ・アンコンストレインド(EUR)
運用の基本方針	MSCI Europeインデックスを超える収益の獲得を目指します。
主要な投資対象	主として欧州株式へ投資します。



管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          受託報酬及び管理事務代行報酬：          純資産総額に対して年率0.065%以内          信託財産留保額：なし</p> <p>当ファンドに関しましては、設定もしくは解約時における基準価額の可変調整が行われることがあります。当可変調整は設定・解約の投資行動に該当する投資家にのみ適用されるため、既存の受益者は資金の流入入による基準価額変動の影響を受けません。</p> <p>その他費用：ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
その他留意点	<p>指定外国投資信託では、解約申込日における解約金総額が当該ファンドの純資産総額10%超となった場合等において、解約申込を制限する場合があります。</p>
投資運用会社	UBSアセット・マネジメント(UK)リミテッド

指定投資信託証券の名称	UBS (Lux) ボンド・シキャブ - コンバート・グローバル (EUR) (USD Hedged)
運用の基本方針	トムソン・ロイター・グローバル・パニラ・CB・インデックス（米ドルヘッジ）を超える収益の獲得を目指します。
主要な投資対象	主として転換社債等へ投資します。
管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          受託報酬及び管理事務代行報酬：          純資産総額に対して年率0.065%以内          信託財産留保額：なし</p> <p>当ファンドに関しましては、設定もしくは解約時における基準価額の可変調整が行われることがあります。当可変調整は設定・解約の投資行動に該当する投資家にのみ適用されるため、既存の受益者は資金の流入入による基準価額変動の影響を受けません。</p> <p>その他費用：ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
その他留意点	<p>指定外国投資信託では、解約申込日における解約金総額が当該ファンドの純資産総額10%超となった場合等において、解約申込を制限する場合があります。</p>
投資運用会社	UBS AG, UBSアセット・マネジメント（チューリッヒ）

指定投資信託証券の名称	UBS (CAY) グローバル・グロス・アンド・インカム
運用の基本方針	世界各国の株式、債券、通貨、デリバティブ等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要な投資対象	主として世界の株式、債券、通貨、デリバティブ等に投資します。

管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          受託報酬及び管理事務代行報酬：          純資産総額に対して年率0.08%以内          信託財産留保額：なし          その他費用：ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。          その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
投資運用会社	UBSアセット・マネジメント（香港）リミテッド

指定投資信託証券の名称	UBS (Lux) キー・セレクション・シキャブ- ダイナミック・アルファ(USD)
運用の基本方針	世界各国の株式、債券、通貨、デリバティブ等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要な投資対象	主として世界の株式、債券、通貨、デリバティブ等に投資します。
管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          受託報酬及び管理事務代行報酬：          純資産総額に対して年率0.065%以内          信託財産留保額：なし          当ファンドに関しましては、設定もしくは解約時における基準価額の可変調整が行われることがあります。当可変調整は設定・解約の投資行動に該当する投資家にのみ適用されるため、既存の受益者は資金の流入入による基準価額変動の影響を受けません。          その他費用：ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。          その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
その他留意点	指定外国投資信託では、解約申込日における解約金総額が当該ファンドの純資産総額10%超となった場合等において、解約申込を制限する場合があります。
投資運用会社	UBSアセット・マネジメント（アメリカス）インク

指定投資信託証券の名称	UBS(Lux) インスティテューショナル・ファンド-ユーロ・コーポレート・ボンド
運用の基本方針	Bloomberg Barclays Euro Aggregate Corporate 500 MMインデックスを超える収益の獲得を目指します。
主要な投資対象	主として欧州の社債等に投資します。

管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          受託報酬及び管理事務代行報酬：          純資産総額に対して年率0.065%以内          信託財産留保額：なし</p> <p>当ファンドに関しましては、設定もしくは解約時における基準価額の可変調整が行われることがあります。当可変調整は設定・解約の投資行動に該当する投資家にのみ適用されるため、既存の受益者は資金の流入入による基準価額変動の影響を受けません。</p> <p>その他費用：ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
その他留意点	<p>指定外国投資信託では、解約申込日における解約金総額が当該ファンドの純資産総額10%超となった場合等において、解約申込を制限する場合があります。</p>
投資運用会社	UBS AG, UBSアセット・マネジメント（チューリッヒ）

指定投資信託証券の名称	iシェアーズ 世界債券ETF
運用の基本方針	FTSE G7 Government Bond Indexに連動することを目指します。
主要な投資対象	カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、英国、米国の国債等に投資します。
管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          総経費率：純資産総額に対して年率0.20%</p> <p>ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
投資運用会社	ブラックロック・アドバイザーズ(UK) リミテッド

指定投資信託証券の名称	iシェアーズ 米国ハイイールド債券ETF (iBoxxドル建てLHYC)
運用の基本方針	Markit iBoxx ドル建てリキッド・ハイイールド・キャプ्ट指数に連動することを目指します。
主要な投資対象	主としてドル建てのハイイールド社債等を投資対象とします。
管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          総経費率：純資産総額に対して年率0.50%</p> <p>ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
投資運用会社	ブラックロック・アドバイザーズ(UK) リミテッド

指定投資信託証券の名称	iシェアーズ J.P.モルガンドル建て新興国債券ETF
運用の基本方針	J.P.モルガン新興国債券グローバル・コア指数に連動することを目指します。
主要な投資対象	主としてドル建ての新興国債等を投資対象とします。
管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          総経費率：純資産総額に対して年率0.45%</p> <p>ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
投資運用会社	ブラックロック・アドバイザーズ(UK) リミテッド

指定投資信託証券の名称	iシェアーズ 新興国債券ETF（自国通貨建）
運用の基本方針	JPモルガン GBI-EM グローバルディバーシファイド キャップ10%フロア1%への連動を目指します。
主要な投資対象	主として現地通貨建ての新興国債等を投資対象とします。
管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          総経費率：純資産総額に対して年率0.50%</p> <p>ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
投資運用会社	ブラックロック・アドバイザーズ(UK) リミテッド

指定投資信託証券の名称	iシェアーズ 欧州ハイイールド社債ETF
運用の基本方針	Markit iBoxx ユーロ建てリキッド・ハイイールド指数に連動することを目指します。
主要な投資対象	主としてユーロ建てのハイイールド社債等を投資対象とします。
管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          総経費率：純資産総額に対して年率0.50%</p> <p>ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
投資運用会社	ブラックロック・アドバイザーズ(UK) リミテッド

指定投資信託証券の名称	iシェアーズ 米ドル建て社債UCITS ETF
運用の基本方針	Markit iBoxx ドル建てリキッド投資適格指数に連動することを目指します。

主要な投資対象	主として流動性の高い米ドル建て投資適格社債を投資対象とします。
管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          総経費率：純資産総額に対して年率0.20%</p> <p>ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
投資運用会社	ブラックロック・アドバイザーズ(UK) リミテッド

指定投資信託証券の名称	iシェアーズ・コア・ユーロ建て社債UCITS ETF
運用の基本方針	ブルームバーグ・バークレイズ欧州社債インデックスに連動することを目指します。
主要な投資対象	主としてユーロ建ての一般産業、ユーティリティ、金融セクターの投資適格社債を投資対象とします。
管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          総経費率：純資産総額に対して年率0.20%</p> <p>ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
投資運用会社	ブラックロック・アドバイザーズ(UK) リミテッド

指定投資信託証券の名称	iシェアーズMSCIワールドUCITS ETF
運用の基本方針	MSCIワールド指数に連動することを目指します。
主要な投資対象	主としてMSCIが定める一定の価格基準、流動性基準、および浮動性基準を満たす世界の先進国企業の株式を投資対象とします。
管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          総経費率：純資産総額に対して年率0.50%</p> <p>ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
投資運用会社	ブラックロック・アドバイザーズ(UK) リミテッド

指定投資信託証券の名称	iシェアーズMSCIエマージング・マーケットUCITS ETF
運用の基本方針	MSCIエマージング・マーケット指数に連動することを目指します。
主要な投資対象	主としてMSCIが定める一定の価格基準、流動性基準、および浮動性基準を満たす世界の新興国企業の株式を投資対象とします。

管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          総経費率：純資産総額に対して年率0.75%          ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
投資運用会社	ブラックロック・アドバイザーズ(UK) リミテッド

指定投資信託証券の名称	UBS (Lux) ボンド・シキャブ- グローバル・ダイナミック(USD) (EUR hedged)
ファンド形態	ルクセンブルグ籍外国投資信託
運用の基本方針	世界各国の債券、通貨を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要な投資対象	主として世界の債券、通貨、デリバティブ等に投資します。
管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          受託報酬及び管理事務代行報酬：          純資産総額に対して年率0.065%以内          信託財産留保額：なし          当ファンドに関しましては、設定もしくは解約時における基準価額の可変調整が行われることがあります。当可変調整は設定・解約の投資行動に該当する投資家にのみ適用されるため、既存の受益者は資金の流出入による基準価額変動の影響を受けません。          その他費用：ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。          その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
その他留意点	指定外国投資信託では、解約申込日における解約金総額が当該ファンドの純資産総額10%超となった場合等において、解約申込を制限する場合があります。
投資運用会社	UBSアセット・マネジメント(UK) リミテッド

指定投資信託証券の名称	UBS (Irl) インベスター・セレクション - カレンシー・アロケーション・リターン・ストラテジー (GBP)
ファンド形態	アイルランド籍外国投資信託
運用の基本方針	シティグループ World Money Market Index Series -GBP 1 Month Euro Depositを超える収益の獲得を目指します。
主要な投資対象	主としてデリバティブを利用して世界各国の通貨等をに投資します。

管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          運用報酬及び管理報酬：純資産総額に対して年率0.30%          信託財産留保額：なし</p> <p>当ファンドに関しましては、設定もしくは解約時における基準価額の可変調整が行われることがあります。当可変調整は設定・解約の投資行動に該当する投資家にのみ適用されるため、既存の受益者は資金の流出入による基準価額変動の影響を受けません。</p> <p>その他費用：ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。</p> <p>その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
投資運用会社	UBSアセット・マネジメント（UK）リミテッド

指定投資信託証券の名称	UBS (Irl) インベスター・セレクション - グローバル・エクイティ・ロングショート・ファンド(EUR)
ファンド形態	アイルランド籍外国投資信託
運用の基本方針	新興国を含む世界各国の株式に投資を行い、信託財産の中期的な成長を目指して運用を行います。
主要な投資対象	主として世界各国の株式、デリバティブ等に投資します。
管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          運用報酬及び管理報酬：純資産総額に対して年率0.30%          信託財産留保額：なし</p> <p>当ファンドに関しましては、設定もしくは解約時における基準価額の可変調整が行われることがあります。当可変調整は設定・解約の投資行動に該当する投資家にのみ適用されるため、既存の受益者は資金の流出入による基準価額変動の影響を受けません。</p> <p>その他費用：ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。</p> <p>その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
投資運用会社	UBSアセット・マネジメント（UK）リミテッド

指定投資信託証券の名称	UBS (Irl) インベスター・セレクション - エクイティ・オポチュニティ・ロングショート・ファンド(EUR)
ファンド形態	アイルランド籍外国投資信託
運用の基本方針	世界各国の株式に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要な投資対象	主として世界各国の株式、デリバティブ等に投資します。

管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          運用報酬及び管理報酬：純資産総額に対して年率0.30%          信託財産留保額：なし          当ファンドに関しましては、設定もしくは解約時における基準価額の可変調整が行われることがあります。当可変調整は設定・解約の投資行動に該当する投資家にのみ適用されるため、既存の受益者は資金の流出入による基準価額変動の影響を受けません。          その他費用：ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。          その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
投資運用会社	UBSアセット・マネジメント（UK）リミテッド

指定投資信託証券の名称	i シェアーズ 先進国不動産利回り UCITS ETF
ファンド形態	アイルランド籍外国投資信託
運用の基本方針	FTSE EPRA/NAREIT Developed Dividend+指数に連動することを目指します。
主要な投資対象	主としてREITや不動産関連株等に投資します。
管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          総経費率：純資産総額に対して年率0.59%          その他費用：ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。          その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
投資運用会社	ブラックロック・アドバイザーズ（UK）リミテッド

指定投資信託証券の名称	i シェアーズ グローバル・インフラ UCITS ETF
ファンド形態	アイルランド籍外国投資信託
運用の基本方針	FTSEグローバル・コア・インフラストラクチャー指数に連動することを目指します。
主要な投資対象	主として先進国や新興国の株式等に投資します。
管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          総経費率：純資産総額に対して年率0.65%          その他費用：ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。          その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
投資運用会社	ブラックロック・アドバイザーズ（UK）リミテッド



指定投資信託証券の名称	ETFS 長期オール・コモディティーズ
ファンド形態	ジャージー籍外国投資信託
運用の基本方針	ブルームバーグ商品指数3ヶ月フォワードに連動することを目指します。
主要な投資対象	主として各種コモディティ等に投資します。
管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          管理報酬：純資産総額に対して年率0.49%          その他費用：ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。          その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
投資運用会社	ETFS Management Company (Jersey) Limited

指定投資信託証券の名称	インベスコ・モーニングスター米国エネルギー・インフラストラクチャ MLP UCITS ETF
ファンド形態	アイルランド籍外国投資信託
運用の基本方針	モーニングスターMLPコンポジット指数に連動することを目指します。
主要な投資対象	主としてMLP関連の株式やデリバティブ等に投資します。
管理報酬等	<p>申込手数料：なし          解約手数料：なし          管理報酬：純資産総額に対して年率0.50%以内          その他費用：ファンドにかかる事務の処理等に関する費用（訴訟費用、法律顧問への報酬、監査費用、監督当局への届出に関する費用、法定書面の印刷、翻訳費用、受益者への通知にかかる費用、上記に類するその他全ての費用）は、ファンドより実費にて支払われます。          その他、証券の売買委託手数料等取引に要する費用等もファンドの負担となります。</p>
投資運用会社	Assenagon Asset Management S.A.

上記は有価証券届出書提出日現在の投資対象とする投資信託証券の一覧です。今後、上記投資信託証券の一部が名称変更となる場合、または繰上償還等により除外される場合、あるいはここに記載された投資信託証券以外が新たに追加となる場合があります。

当ファンドの信託報酬率（年率0.918%<sup>\*1</sup>（税抜年率0.85%））を加えた基本となる報酬率は、実質的には

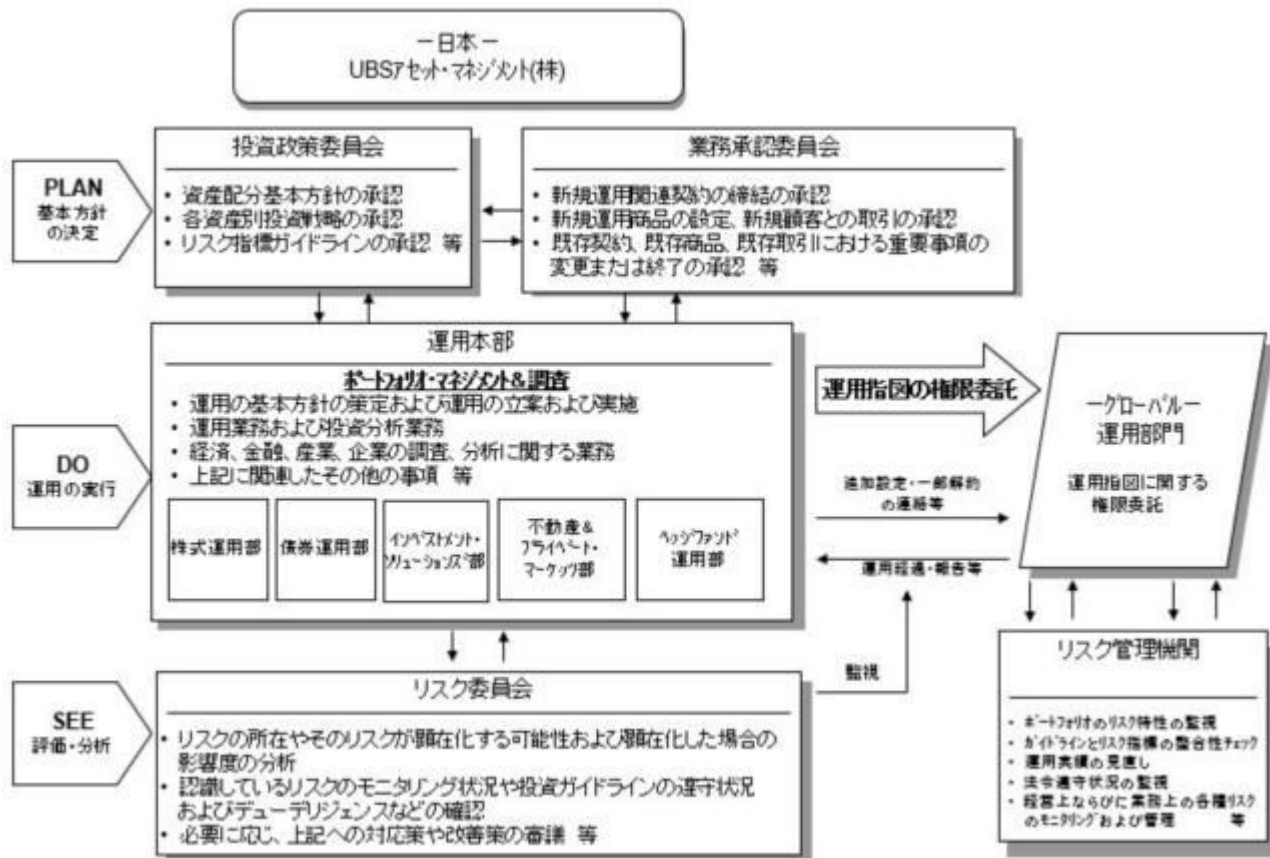
当ファンドの純資産総額に対して合計で年率1.2575%（程度）<sup>\*2</sup>となります。

消費税率が10%になった場合は、\*1...年率0.935%、\*2...年率1.2745%（程度）となります。

当ファンドのマザーファンドが投資する投資信託証券の選定方針は、上記概要を参照しております。

### （3）【運用体制】

当ファンドの運用体制は以下のとおりです。



### < 運用体制に関する社内規則等およびファンドに係る法人等の管理 >

ファンドの運用に関しましては、当社の運用本部（15～20名程度）は、運用に関する社内規則を遵守することが求められております。当該社内規則におきましては、運用者の適正な行動基準および禁止行為が規定されており、法令遵守、顧客の保護、最良執行・公平性の確保等が規定されています。実際の取引においては、取引を行う第一種金融商品取引業者の承認基準、利害関係人との取引・ファンド間売買等の種々の社内規程を設けて、利益相反となる取引、インサイダー取引等の防止措置を講じております。

当社では、受託会社または受託会社の再信託先に対しては、日々の純資産照合、月次の勘定残高照合などを行っています。また、受託業務の内部統制の有効性についての監査人による報告書を受託会社より受取っております。

### < 内部管理およびファンドに係る意思決定を監督する組織 >

**投資政策委員会：**

投資政策および運用の基本方針、運用戦略等の決定機関として投資政策委員会を経営委員会直属の機関として設置しております。投資政策委員会は、原則として議長である運用本部長が毎月および必要に応じて招集し、その議事運営には、運用本部長の他、運用本部を構成する各部のうち、投資判断を行う部の部長またはその代理の5～10名程度が構成員として参加しております。なお、議長の承認により構成員以外の者を参考人として出席させることができます。

**業務承認委員会：**

商品性、収益性、リスク管理等の観点から、新規運用関連契約の締結、新規運用商品の設定、新規顧客との取引、既存契約および既存商品ならびに既存取引における重要事項の変更ないし終了等を包括的にレビューし、承認する機関として、経営委員会直属である業務承認委員会を設置しております。業務承認委員会は、原則として案件の申請者または議長である商品開発部長が招集し、その議事運営には、社長、チーフ・アドミニストレイティブ・オフィサー、審議案件に関する機関投資家営業本部長または投信営業本部長、営業推進本部長、運用本部長、管理本部長、クライアント・サービス部長、商品開発部長、コンプライアンス&オペレーショナル・リスク・コントロール部長、法務部長、企画管理部長、経理部長等、またはその代理の12名程度が構成員として参加しております。なお、議長の承認により構成員以外の者を参考人として出席させることができます。

**リスク委員会：**

業務の執行にあたって、経営上ならびに業務上のリスクの分析、モニタリングおよび管理状況の確認などの総合的な評価および検討を行い、必要に応じて改善策等を講じるための機関であり、また、業務上のリスクの所在やそのリスクが顕在化する可能性および顕在化した場合の影響度を分析し、認識しているリスクのモニタリング状況や投資ガイドラインの遵守状況およびデューデリジェンスなどの確認を行い、必要に応じて対応策や改善策などを決議する機関として、経営委員会直属であるリスク委員会を設置しております。リスク委員会は、原則としてチーフ・アドミニストレイティブ・オフィサーまたは企画管理部長が毎月および必要に応じて招集し、その議事運営には、社長、チーフ・アドミニストレイティブ・オフィサー、機関投資家営業本部長、投信営業本部長、営業推進本部長、運用本部長、管理本部長、クライアント・サービス部長、商品開発部長、コンプライアンス&オペレーショナル・リスク・コントロール部長、法務部長、経理部長、企画管理部長、テクノロジー部長の14名程度の構成員が参加しております。なお、議長の承認により構成員以外の者を参考人として出席させることができます。

上記の運用体制は、2019年2月末現在のものであり、今後変更となる可能性があります。

**（４）【分配方針】****収益分配方針**

毎決算時（毎年8月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

- 1) 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）と売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額をいいます。）等の全額とします。
- 2) 収益分配金額は、上記1)の範囲内で、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、委託会社の判断で、分配を行わないことがあります。
- 3) 収益の分配にあてなかつた利益の運用については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。

**収益分配金の支払い**

原則として、収益分配金は無手数料で自動的に再投資されます。

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

**（５）【投資制限】****約款に定める投資制限****<UBS DCコア戦略ファンド>**

- 1) 投資信託証券への実質投資割合には、制限を設けません。
- 2) 株式への直接投資は行いません。
- 3) 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
- 4) 同一銘柄の投資信託証券への投資において、当該投資信託証券が一般社団法人投資信託協会の規則に定めるエクスポージャーがルックスルーできる場合に該当しないときには、当該投資信託証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
- 5) 一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
- 6) 特別の場合の外貨建有価証券への投資制限  
外貨建有価証券（外国通貨表示の有価証券をいいます。以下同じ。）への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に、必要と認められる場合には、制約されることがあります。
- 7) 外国為替予約の指図  
委託会社は、信託財産に属する外貨建資産（外貨建有価証券、外国通貨表示の預金その他の資産をいいます。以下同じ。）とマザーファンドに属する外貨建資産のうち信託財産に属するとみなした額（信託財産に属するマザーファンドの時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める当

該資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。)との合計額について、当該外貨建資産の為替ヘッジのため、外国為替の売買の予約を指図することができます。

#### 8) 資金の借入

イ) 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性をはかるため、一部解約に伴う支払い資金手当て(一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。)を目的として、または再投資に係る収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ(コール市場を通じる場合を含みます。)の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。

ロ) 一部解約に伴う支払資金の手当てに係る借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、解約代金および有価証券等の償還金の合計額を限度とします。

ハ) 収益分配金の再投資に係る借入期間は、信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。

ニ) 借入金の利息は信託財産中より支弁します。

#### < UBSディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド >

1) 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。

2) 株式への直接投資は、行いません。

3) 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

4) 特別の場合の外貨建有価証券への投資制限

外貨建有価証券(外国通貨表示の有価証券をいいます。以下同じ。)への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

5) 外国為替予約の指図

委託会社は、信託財産に属する外貨建資産(外貨建有価証券、外国通貨表示の預金その他の資産をいいます。以下同じ。)について、当該外貨建資産の為替ヘッジのため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。

##### 法令による投資制限

1) 同一法人の発行する株式(投資信託及び投資法人に関する法律)

同一法人の発行する株式について、委託会社が運用の指図を行なう投資信託全体で、当該株式の議決権の過半数を保有することとなる取引は行ないません。

2) デリバティブ取引の投資制限(金融商品取引業等に関する内閣府令)

委託会社は、運用財産に関し、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額としてあらかじめ委託会社が定めた合理的方法により算出した額が当該運用財産の純資産額を超えることとなる場合において、デリバティブ取引(新株予約権証券、新投資口予約権証券またはオプションを表示する証券もしくは証書に係る取引および選択権付債券売買を含みます。)を行い、または継続することを内容とした運用を行いません。

3) 信用リスク集中回避のための投資制限(金融商品取引業等に関する内閣府令)

委託会社は、運用財産に関し、信用リスク(保有する有価証券その他の資産について取引の相手方の債務不履行その他の理由により発生し得る危険をいいます。)を適正に管理する方法としてあらかじめ委託会社が定めた合理的方法に反することとなる内容とした運用を行いません。

### 3【投資リスク】

#### (1) ファンドのリスク

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて世界各国の株式および債券に投資する投資信託証券を実質的な主要投資対象としますので、実質組入れ株式および債券の価格の下落や当該株式および債券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落した場合には、損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、全て受益者に帰属し

ます。また、投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドにかかる主なリスクは次の通りです。

ただし、すべてのリスクについて記載されているわけではありません。

#### 株式の価格変動リスク

株価は、政治・経済情勢、株式の需給関係、発行企業の業績等を反映して変動します。また株価は、短期的または長期的に大きく下落することがあります。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となります。また株式の発行企業の業績悪化や経営不安、倒産等に陥った場合には投資資金の回収が出来なくなる場合があります。

#### 公社債の価格変動リスク

公社債の価格は、主に金利の変動および発行体の信用力の変化の影響を受けて変動します。公社債の価格が下落した場合には、ファンドの基準価額が下落する要因となります。公社債の価格の変動幅は、債券の償還までの残存期間、発行体の信用状況などに左右されます。

##### 1) 金利変動リスク

公社債の価格は金利変動によって変動します。一般的に公社債の市場価格は、金利が低下した場合には上昇する傾向となり、逆に金利が上昇した場合には下落する傾向があります。

##### 2) 信用リスク

公社債の価格は発行体の信用力の変化によっても変動します。公社債の発行体の業績悪化、財務内容の変化、経営不振等により、債務不履行（デフォルト、元利金の支払いが期日までに行われないこと）が生じた場合、あるいはそのような状況が予想される局面となった場合には、公社債の価格は大きく下落することがあります。このような場合にはファンドの基準価額が影響を受け、大きく下落することがあります。

#### カントリー・リスク

外国証券への投資には、当該国・地域の政治・経済および社会情勢の変化により混乱が生じた場合には基準価額に大きな変動をもたらす可能性があります。

また、エマージング諸国・地域の有価証券に投資する場合、これらの地域には主に次のようなリスクがあり、これらのリスクはファンドの基準価額に大きな変動をもたらす可能性があります。

- ・先進国と比較して一般的に政治・経済および社会情勢等が著しく変化する可能性があります。
- ・資産の移転に関する規制、外国人による投資規制等の導入等の可能性があります。
- ・先進国と比較して一般的に法制度や社会基盤が未整備であり、情報開示等の基準が異なることから、正確な情報の確保が困難となる可能性があります。

#### 為替変動リスク

外貨建資産を円貨ベ－スにした場合、その資産価値は、為替レ－トの変動により影響を受けることとなります。為替レ－トは短期間に大幅に変動することがあります。したがって、為替の変動に伴い、当ファンドの基準価額が変動する可能性があります。為替レ－トは一般に、外国為替市場の需給、世界各国への投資メリットの差異、金利の変動その他の様々な国際的要因により決定されます。また、為替レ－トは、各国政府・中央銀行による介入、通貨管理その他の政策によっても変動する可能性があります。

なお、当ファンドは為替変動リスク低減のために円に対して為替ヘッジを行いますが、この場合、為替ヘッジコストの発生等が基準価額の変動要因となるなど、すべての為替変動リスクを回避できるわけではありません。

#### 流動性リスク

短期間に相当金額の解約申込があった場合には、解約資金を手当てするために保有証券を大量に売却しなければならないことがあります。その際には、市況動向や取引量等の状況によっては、保有証券を市場実勢から期待される価格で売却できないことがあり、その結果、基準価額が大きく変動する可能性があります。

#### 組入投資信託証券に係るリスク

当ファンドは、様々なリスク特性を有する資産へ投資する投資信託証券および様々なリスク特性を有する投資戦略または投資手法を用いる投資信託証券に投資を行う場合があります。この場合、株式、債券および為替市場の変動リスクのほか、以下の要因等により組入投資信託証券の価格は大きく変動する可能性があります。

- ・少数の有価証券、業種、国に集中的に投資する場合、分散投資を行う場合と比べて大きな損失が

発生する場合があります。

- ・デリバティブ取引や借入れによるレバレッジを利用する場合、レバレッジを利用しない場合と比べて大きな損失が発生する場合があります。
- ・流動性の低い資産へ投資する場合、市場実勢から期待される価格で売却できないことにより損失が発生する可能性があります。また、組入投資信託証券の解約代金や償還代金の支払に遅延が生じることにより不利益を被る可能性があります。
- ・組入投資信託証券が採用する投資戦略は有効である保証はなく、市況動向により損失が発生する場合があります。

#### < その他の留意点 >

##### クーリング・オフ

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

##### 分配金に関する留意点

分配金は計算期間中に発生した信託報酬等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）を超過して支払われる場合がありますので、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。受益者のファンドの購入価額によっては、分配金はその支払いの一部ないし全てが実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。また、ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。なお、分配金の支払いは純資産総額から行われますので、分配金支払いにより純資産総額は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。

##### 短期金融商品の信用リスク

ファンド資産をコール・ローン等の短期金融商品で運用する場合、債務不履行により損失が発生する可能性があります。

##### 買付および換金申込に係る制限

- ・買付または換金の申込日が、ニューヨーク、ルクセンブルグもしくは香港の銀行休業日またはニューヨーク証券取引所の休業日（以下「ニューヨーク、ルクセンブルグまたは香港の休業日」といいます。）と同日の場合には、当該買付または換金の申込みは受け付けません。
- ・金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等。）があるときは、買付および換金の申込みの受け付けを中止することおよび既に受け付けた当該各申込を取り消すことがあります。
- ・信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金請求には制限を設ける場合があります。

#### < 投資信託に関する一般的なリスク >

- ・法令や税制が変更される場合に、投資信託を保有する受益者が不利益を被る可能性があります。
- ・信託財産の状況によっては、目指す運用が行われないことがあります。また、信託財産の減少の状況によっては、委託会社が目的とする運用が困難と判断した場合、安定運用に切り替えることがあります。
- ・証券市場および外国為替市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化もしくは政策の変更等の諸事情により閉鎖されることがあります。これにより当ファンドの運用が影響を被って基準価額の下落につながり、その結果、投資元本を下回る可能性があります。

#### < 投資信託に関する一般的な留意事項 >

- ・投資信託は、預貯金または保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- ・投資信託は、金融機関の預貯金とは異なり、元本および利息の保証はありません。投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。

#### (2) リスク管理体制

委託会社では、取引の執行については、運用部門が投資対象・投資制限等を規定した運用ガイドラインに従って執行します。

取引の管理については、管理部門は運用ガイドラインに則って適切な運用がなされているか、および運

用結果の定期的な検証を通じて、各種リスクが適切に管理されていることをモニタリングしています。また、それらの状況は定期的開催される各委員会に報告され、状況の把握・確認が行われるほか、適切な運営について検証が行われます。

また、委託会社は、運用指図権限の委託先とファンドの運用方針に基づくガイドライン等を規定した運用委託契約を締結し、運用状況、ガイドラインの遵守状況をモニタリングします。

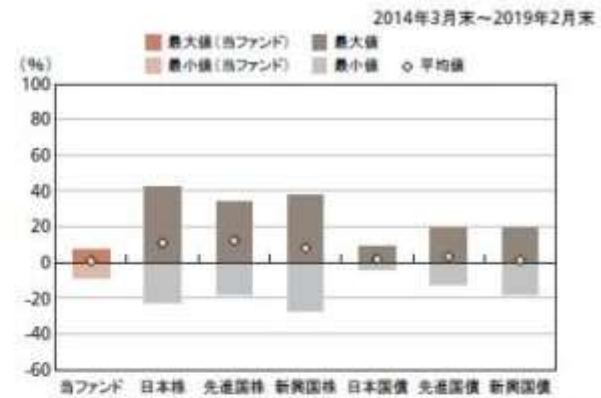
上記体制は2019年2月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

#### ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額の推移



※ 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。設定日前日を10,000として指数化し、設定日の属する月末より表示しております。  
※ 年間騰落率は、2016年8月から2019年2月の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

#### ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	7.2	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△ 8.9	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	0.9	10.9	12.3	8.1	2.0	3.4	1.5

※ 上記は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。  
※ 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。  
※ 2014年3月から2019年2月の5年間(当ファンドは2016年8月から2019年2月)の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

※ 分配金再投資基準価額および年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額および実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率と異なる場合があります。

#### ■ 各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数(TOPIX)(配当込み)  
先進国株：MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)  
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)  
日本国債：NOMURA-BPI国債  
先進国債：FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)  
新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド(円換算ベース)  
(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

#### ○ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ・ 東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

東証株価指数(TOPIX)に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社東京証券取引所に帰属します。

#### ・ MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)  
MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ・ NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

#### ・ FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)

FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ・ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド(円換算ベース)

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

## 4【手数料等及び税金】

### (1)【申込手数料】

販売会社が定めるものとします。申込手数料率につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。

- ・ 有価証券届出書提出日現在、販売会社における申込手数料はありません。

・収益分配金の再投資により取得する口数については、申込手数料はかかりません。

## （２）【換金（解約）手数料】

換金手数料

ありません。

信託財産留保額

ありません。

## （３）【信託報酬等】

信託報酬

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年0.918%<sup>\*</sup>（税抜0.85%）の率を乗じて得た額とします。

\*消費税率が10%になった場合は、0.935%となります。

信託報酬の配分

信託報酬の配分（年率）は、以下の通りとします。

信託報酬 = 運用期間中の基準価額 × 信託報酬率			
合計	委託会社	販売会社	受託会社
0.85%	0.40%	0.40%	0.05%

役務の内容

委託会社	委託した資金の運用の対価
販売会社	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
受託会社	運用財産の管理、運用指図実行等の対価

表中の率は税抜です。別途消費税がかかります。

なお、当ファンドのマザーファンドが投資対象とする投資信託証券の管理報酬等（詳細は以下の通り）について、委託会社が試算した概算値は、当ファンドの純資産総額に対して年率0.3395%以内の範囲でかかります。

したがって、当ファンドの信託報酬率（年率0.918%<sup>\*1</sup>（税抜年率0.85%））を加えた基本となる報酬率は、実質的には当ファンドの純資産総額に対して年率1.2575%（程度）<sup>\*2</sup>となります。

消費税率が10%になった場合は、\*1...年率0.935%、\*2...年率1.2745%（程度）となります。

ただし、この値はあくまでも実質的な基本となる報酬率の目安です。当ファンドのマザーファンドが投資する実際の投資信託証券の投資比率によって、実質的な基本となる報酬率は変動します。

マザーファンドの投資顧問会社（運用指図権限の委託先）への報酬は、委託会社が受取る報酬から支払われます。

## （ご参考）

当ファンドのマザーファンドが投資対象とする指定投資信託証券の主な費用は次のとおりです。

投資対象とする投資信託証券	管理報酬・信託報酬等 （運用・受託報酬及び管理事務代行報酬）
UBS（Lux）ボンド・シキャブ-USドル・コーポレート(USD)	純資産総額に対し年率0.065%以内
db x-トラッカーズ db ヘッジ・ファンド・インデックス UCITS ETF	純資産総額に対し年率1.13%以内



UBS (Lux) エクイティ・シキャブ - ヨーロピアン・オポ チュニティ・アンコンストレインド(EUR)	純資産総額に対し年率0.065%以内
UBS (Lux) ボンド・シキャブ - コンバート・グローバル (EUR) (USD Hedged)	純資産総額に対し年率0.065%以内
UBS (CAY) グローバル・グロース・アンド・インカム	純資産総額に対し年率0.08%以内
UBS (Lux) キー・セレクション・シキャブ - ダイナミック ク・アルファ(USD)	純資産総額に対して年率0.065%以内
UBS (Lux) インスティテューショナル・ファンド - ユー ロ・コーポレート・ボンド	純資産総額に対し年率0.065%以内
iシェアーズ 世界債券ETF	総経費率：純資産総額に対して年率0.20%
iシェアーズ 米国ハイイールド債券ETF (iBoxxドル建て LHYC)	総経費率：純資産総額に対して年率0.50%
iシェアーズ J.P.モルガンドル建て新興国債券ETF	総経費率：純資産総額に対して年率0.45%
iシェアーズ 新興国債券ETF (自国通貨建)	総経費率：純資産総額に対して年率0.50%
iシェアーズ 欧州ハイイールド社債ETF	総経費率：純資産総額に対して年率0.50%
iシェアーズ 米ドル建て社債UCITS ETF	総経費率：純資産総額に対して年率0.20%
iシェアーズ・コア・ユーロ建て社債UCITS ETF	総経費率：純資産総額に対して年率0.20%
iシェアーズ MSCIワールドUCITS ETF	総経費率：純資産総額に対して年率0.50%
iシェアーズ MSCIエマージング・マーケットUCITS ETF	総経費率：純資産総額に対して年率0.75%
UBS (Lux) ボンド・シキャブ- グローバル・ダイナミック (USD) (EUR hedged)	純資産総額に対して年率0.065%以内
UBS (Irl) インベスター・セレクション カレンシー・ アロケーション・リターン・ストラテジー (GBP)	純資産総額に対して年率0.30%
UBS (Irl) インベスター・セレクション グローバル・ エクイティ・ロングショート・ファンド(EUR)	純資産総額に対して年率0.30%
UBS (Irl) インベスター・セレクション エクイティ・ オポチュニティ・ロングショート・ファンド(EUR)	純資産総額に対して年率0.30%
i シェアーズ 先進国不動産利回り UCITS ETF	総経費率：純資産総額に対して年率0.59%
i シェアーズ グローバル・インフラ UCITS ETF	総経費率：純資産総額に対して年率0.65%
ETFS 長期オール・コモディティーズ	純資産総額に対して年率0.49%
インベスコ・モーニングスター米国エネルギー・インフラ ストラクチャ MLP UCITS ETF	純資産総額に対して年率0.50%以内

また、このほかに、組入れる投資信託証券においても、各組入投資信託証券の信託事務の処理等に要する諸費用、株式等の売買委託手数料等取引に関する費用等が支払われます。なお、これらの費用は、信託財産の規模、取引量等により変動しますので、事前に金額および計算方法を表示することができません。ファンドによっては、換金時に信託財産留保額や設定もしくは解約時における基準価額の可変調整相当額が徴収される場合があります。

詳しくは前記「第1 ファンドの状況 2 投資方針 (2) 投資対象 < 指定投資信託証券の概要 >」をご覧ください。

#### 支払時期

信託報酬(信託報酬に係る消費税等相当額を含みます。)は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払います。

#### (4) 【その他の手数料等】

##### 信託事務の諸費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息は、受

益者の負担として、原則として発生の都度信託財産中から支弁します。

売買委託手数料等

組入有価証券の売買に係る売買委託手数料等のファンドを運用するための費用等ならびに当該売買委託手数料等に係る消費税等相当額は、受益者の負担として、原則として発生の都度信託財産中から支弁します。

監査費用

信託財産に関する監査報酬および当該監査報酬に係る消費税等相当額は受益者の負担とし、信託財産中から支弁することができます。

その他の費用

以下の諸費用および当該費用に係る消費税等相当額は受益者の負担とし、信託財産中から支弁することができます。

1. 受益権の管理事務に関連する費用
2. 有価証券届出書の作成、印刷および提出に係る費用
3. 目論見書の作成、印刷および交付に係る費用
4. 信託約款の作成、印刷および届出に係る費用
5. 運用報告書の作成、印刷および交付に係る費用（これを監督官庁に提出する場合の提出費用も含まれます。）
6. ファンドの受益者に対して行う公告に係る費用ならびに信託約款の変更または信託契約の解約に係る事項を記載した書面の作成、印刷および交付に係る費用

委託会社は、上記 および上記 1. から 6. のその他諸費用の支払いをファンドのために行い、その金額を合理的に見積った結果、信託財産の純資産総額に対して年率0.1%を上限とする額を、かかる費用等の合計額とみなして、実際の費用額にかかわらずファンドより受領することができます。ただし、委託会社は、信託財産の規模等を考慮して、信託の設定時および期中に、随時かかる費用等の年率を見直し、これを変更することができます。

上記 および上記 1. から 6. のその他諸費用は、ファンドの計算期間を通じて毎日計上されます。かかる費用等は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了時に、信託財産中から委託会社に対して支弁されます。

上記 から の費用のうち、主要なものを対価とする役務の内容は以下のとおりです。

1. 監査費用：監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
2. 印刷費用等：法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
3. 売買委託手数料：有価証券等を取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料
4. 保管費用：海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用

前記 および の費用は、信託財産の規模、取引量等により変動しますので、事前に金額および計算方法を表示することができません。

なお、受益者が直接および間接的に負担する費用の合計額は、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## （５）【課税上の取扱い】

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

確定拠出年金の場合

確定拠出年金法に規定する資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合、所得税および地方税はかかりません。

なお、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されません。

確定拠出年金でない場合

個人受益者の場合

### 1) 収益分配金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については配当所得として、20.315%（所得税15.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収（原則として、確定申告は不要です。）が行なわれます。

なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税(配当控除の適用はありません。 )のいずれかを選択することもできます。

## 2) 解約金および償還金に対する課税

解約時および償還時の差益(譲渡益)<sup>\*</sup>については譲渡所得として、20.315%(所得税15.315%および地方税5%)の税率による申告分離課税の対象となり、確定申告が必要となります。なお、源泉徴収ありの特定口座(源泉徴収選択口座)を選択している場合は、20.315%(所得税15.315%および地方税5%)の税率による源泉徴収(原則として、確定申告は不要です。)が行なわれます。

\* 解約価額および償還価額から取得費用(申込手数料および当該手数料に係る消費税等相当額を含みません。)を控除した利益

確定申告等により、解約時および償還時の差損(譲渡損失)については、上場株式等の譲渡益、上場株式等の配当等および特定公社債等の利子所得(申告分離課税を選択したものに限りません。)と損益通算が可能です。また、解約時および償還時の差益(譲渡益)、普通分配金および特定公社債等の利子所得(申告分離課税を選択したものに限りません。)については、上場株式等の譲渡損失と損益通算が可能です。

### 法人受益者の場合

#### 1) 収益分配金、解約金、償還金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については配当所得として、15.315%(所得税のみ)の税率による源泉徴収が行なわれます。源泉徴収された税金は、所有期間に応じて法人税から控除される場合があります。

#### 2) 益金不算入制度の適用

益金不算入制度は適用されません。

買取請求による換金の際の課税については、販売会社にお問い合わせください。

### 個別元本

1) 各受益者の買付時の基準価額(申込手数料および当該手数料に係る消費税等相当額は含まれません。)が個別元本になります。

2) 受益者が同一ファンドを複数回お申込みの場合、1口当たりの個別元本は、申込口数で加重平均した値となります。ただし、個別元本は、複数支店で同一ファンドをお申込みの場合などにより把握方法が異なる場合がありますので、販売会社にお問い合わせください。

### 普通分配金と元本払戻金(特別分配金)

1) 収益分配金には課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(元本の一部払戻しに相当する部分)の区分があります。

#### 2) 受益者が収益分配金を受け取る際

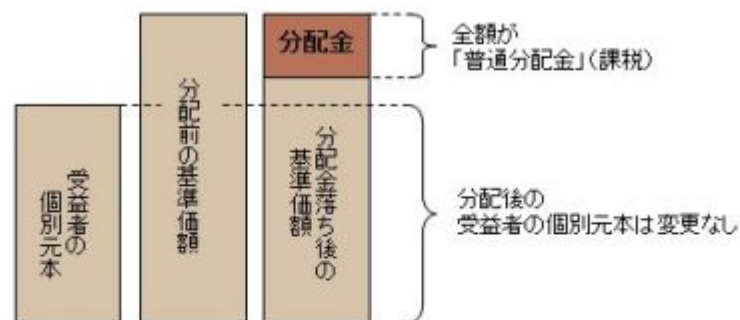
イ) 収益分配金落ち後の基準価額が、受益者の1口当たりの個別元本と同額かまたは上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となります。

ロ) 収益分配金落ち後の基準価額が、受益者の1口当たりの個別元本を下回っている場合には、収益分配金の範囲内でその下回っている部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、収益分配金から元本払戻金(特別分配金)を控除した金額が普通分配金となります。

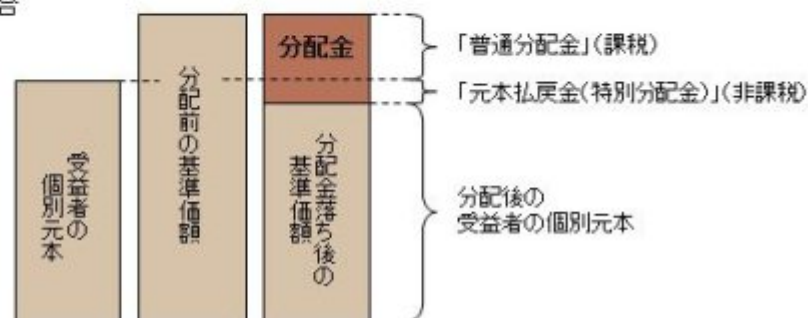
ハ) 収益分配金発生時に、その個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の受益者の個別元本となります。

## &lt;分配金に関するイメージ図&gt;

イ) の場合



ロ)、ハ) の場合



上記は2019年2月末現在のもので、税法または確定拠出年金法が改正された場合などには、税率などの課税上の取扱いが変更になる場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家などにご確認されることをお勧めします。

## 5【運用状況】

## 【UBS DCコア戦略ファンド】

以下の運用状況は2019年 2月28日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

## (1)【投資状況】

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	35,301,367	99.82
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		63,441	0.18
合計(純資産総額)		35,364,808	100.00

(注)「国/地域」は、組入銘柄の発行地または登録地により分類されています。

## (2)【投資資産】

## 【投資有価証券の主要銘柄】

## イ. 評価額上位銘柄明細

国/地域	種類	銘柄名	数量	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託受益証券	UBSディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド	20,565,900	1.7470	35,930,457	1.7165	35,301,367	99.82

（注）「国／地域」は、組入銘柄の発行地または登録地により分類されています。

#### ロ.種類別の投資比率

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	99.82
合計	99.82

#### 【投資不動産物件】

該当事項はありません。

#### 【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

### （3）【運用実績】

#### 【純資産の推移】

期別	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額（円）	
	分配落ち	分配付き	分配落ち	分配付き
第1計算期間末 (2016年 8月10日)	13	13	0.9323	0.9323
第2計算期間末 (2017年 8月10日)	26	26	0.9856	0.9856
第3計算期間末 (2018年 8月10日)	32	32	0.9854	0.9854
2018年 2月末日	32		0.9893	
3月末日	32		0.9809	
4月末日	32		0.9867	
5月末日	33		0.9793	
6月末日	33		0.9707	
7月末日	31		0.9858	
8月末日	31		0.9810	
9月末日	32		0.9826	
10月末日	32		0.9462	
11月末日	32		0.9465	
12月末日	32		0.9188	
2019年 1月末日	33		0.9442	
2月末日	35		0.9570	

#### 【分配の推移】

期	期間	1口当たりの分配金(円)
第1期	2015年 8月18日～2016年 8月10日	0.0000
第2期	2016年 8月11日～2017年 8月10日	0.0000
第3期	2017年 8月11日～2018年 8月10日	0.0000

## 【収益率の推移】

期	期間	収益率(%)
第1期	2015年 8月18日～2016年 8月10日	6.8
第2期	2016年 8月11日～2017年 8月10日	5.7
第3期	2017年 8月11日～2018年 8月10日	0.0
第4期(中間期)	2018年 8月11日～2019年 2月10日	3.6

(注)各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額(分配落ち)に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落ち。以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。

## (4)【設定及び解約の実績】

期	期間	設定口数	解約口数
第1期	2015年 8月18日～2016年 8月10日	18,237,077	3,815,917
第2期	2016年 8月11日～2017年 8月10日	15,975,130	3,090,354
第3期	2017年 8月11日～2018年 8月10日	14,016,204	8,420,678
第4期(中間期)	2018年 8月11日～2019年 2月10日	5,036,770	2,731,803

(注)第1計算期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

(参考)

## UBSディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド

以下の運用状況は2019年 2月28日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

## 投資状況

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	ケイマン	1,713,524,291	60.00
	ルクセンブルク	145,395,319	5.09
	小計	1,858,919,610	65.09
投資証券	ルクセンブルク	510,342,024	17.87
	アイルランド	275,631,225	9.65
	小計	785,973,249	27.52
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		211,025,777	7.39

合計(純資産総額)	2,855,918,636	100.00
-----------	---------------	--------

(注)「国/地域」は、組入銘柄の発行地または登録地により分類されています。

## 投資資産

### 投資有価証券の主要銘柄

#### イ. 評価額上位銘柄明細

国/地域	種類	銘柄名	数量	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
ケイマン	投資信託受益 証券	UBS(CAY)グローバル・グロース・ア ンド・インカム クラスA	153,131.505	11,656.54	1,784,984,534	11,189.88	1,713,524,291	60.00
ルクセン ブルク	投資証券	UBS(Lux)ボンド・シキャブ- USド ル・コーポレートI-B-accクラス	20,439.762	17,582.87	359,389,745	18,075.13	369,451,479	12.94
アイルラ ンド	投資証券	iシェアーズ 世界債券ETF	17,450	11,708.98	204,321,713	11,833.15	206,488,556	7.23
ルクセン ブルク	投資信託受益 証券	UBS(Lux)インスティテューショナ ル・ファンド-ユーロ・コーポレー ト・ボンド BAクラス	5,789.564	24,914.12	144,241,909	25,113.34	145,395,319	5.09
ルクセン ブルク	投資証券	UBS(Lux)キー・セレクション・シ キャブ- ダイナミック・アルファ (USD)I-B-accクラス	10,149.94	14,077.16	142,882,369	13,880.92	140,890,545	4.93
アイルラ ンド	投資証券	iシェアーズ J.P.モルガンドル建て 新興国債券ETF	4,500	11,806.54	53,129,458	12,006.11	54,027,505	1.89
アイルラ ンド	投資証券	iシェアーズ 欧州ハイイールド社債 ETF	1,150	13,334.01	15,334,119	13,143.62	15,115,164	0.53

(注)「国/地域」は、組入銘柄の発行地または登録地により分類されています。

#### ロ. 種類別の投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	65.09
投資証券	27.52
合計	92.61

### 投資不動産物件

該当事項はありません。

### その他投資資産の主要なもの

(為替予約)

資産の種類	通貨	買建/ 売建	数量	帳簿価額 (円)	評価額 (円)	投資比率 (%)
為替予約取引	米ドル	売建	16,405,000.00	1,814,312,451	1,814,721,100	63.54
	ユーロ	売建	1,870,000.00	235,628,209	235,788,300	8.26
	イギリス・ポンド	売建	200,000.00	29,260,926	29,502,000	1.03

## 参考情報

## 運用実績

◎最新の運用実績は委託会社のホームページ、または販売会社でご確認いただけます。

◎運用実績はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

### 基準価額・純資産の推移 (2019年2月28日現在)



### 分配の推移 (1万口当たり、税引前)

2016年8月	0円
2017年8月	0円
2018年8月	0円
設定来累計	0円

※分配金再投資基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後で、収益分配が行われた場合には税引前の当該分配金を再投資したものと算出。

### 主要な資産の状況 (2019年2月28日現在)

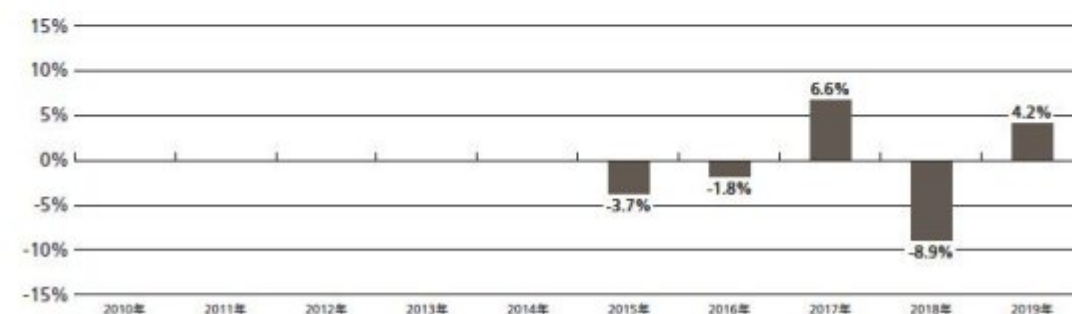
#### 主要投資銘柄(組入上位銘柄)

国名または地域	種類	銘柄名	投資比率
ケイマン	投資信託受益証券	UBS(CAY)グローバル・グロース・アンド・インカム クラスA	60.00%
ルクセンブルク	投資証券	UBS(Lux)ボンド・シキャブ・USDル・コーポレートI-B-accクラス	12.94%
アイルランド	投資証券	iシェアーズ 世界債券ETF	7.23%
ルクセンブルク	投資信託受益証券	UBS(Lux)インスティテューショナル・ファンド・ユーロ・コーポレート・ボンド BAクラス	5.09%
ルクセンブルク	投資証券	UBS(Lux)キー・セレクション・シキャブ・ダイナミック・アルファ(USD)I-B-accクラス	4.93%
アイルランド	投資証券	iシェアーズ J.P.モルガンドル建て新興国債券ETF	1.89%
アイルランド	投資証券	iシェアーズ 欧州ハイイールド社債ETF	0.53%

※当ファンドの純資産総額に対し、マザーファンドを99.82%組入れております。

※投資比率は、マザーファンドの純資産総額に占める割合。

### 年間収益率の推移 (2019年2月28日現在)



※税引前分配金を再投資したものと算出。

※2015年については当初設定(2015年8月18日)から年末まで、2019年は年初から2月末までの騰落率。

※ファンドにはベンチマークはありません。



## 第2【管理及び運営】

### 1【申込（販売）手続等】

#### (1) 申込方法

確定拠出年金制度の規定に従い、販売会社所定の方法でお申し込みください。

当ファンドは、確定拠出年金法に基づく確定拠出年金制度の拠出金を運用するための専用ファンドです。取得申込者は、確定拠出年金法に定める加入者などの運用の指図に基づいて取得の申込みを行なう資産管理機関および国民年金基金連合会等に限るものとします。

#### (2) 分配金再投資について

販売会社と別に定める自動けいぞく投資約款にしたがって分配金再投資に関する契約を締結していただくこととなります。また、販売会社によっては、当該契約または規定について、同様の権利義務関係を規定する名称の異なる契約または規定を使用することがあり、この場合、当該別の名称に読み替えるものとします。

<分配金再投資コース>

収益分配金を自動的に再投資するコースです。

#### (3) 申込みの受付

販売会社の営業日に受け付けます。

#### (4) 取扱時間

原則として、午後3時までに、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。なお、上記時刻を過ぎた場合は、翌営業日の取扱いとなります。

#### (5) 取得申込不可日

販売会社の営業日であっても、取得申込日がニューヨーク、ルクセンブルグもしくは香港の銀行休業日またはニューヨーク証券取引所の休業日に該当する場合は、取得の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

#### (6) 申込金額

取得申込受付日の翌営業日の基準価額に取得申込口数を乗じて得た額に、申込手数料と当該手数料に係る消費税等相当額を加算した額です。

「分配金再投資コース」において収益分配金を再投資する場合は、各計算期間終了日の基準価額とします。

#### (7) 申込単位（当初元本1口＝1円）

販売会社が独自に定める単位とします。

詳しくは、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。

委託会社の照会先

<UBSアセット・マネジメント株式会社>

ホームページアドレス：<http://www.ubs.com/japanfunds/>

電話番号：03-5293-3700（営業日の9:00-17:00）

#### (8) 申込代金の支払い

取得申込者は、申込金額を販売会社が指定する日までに販売会社へお支払いください。

#### (9) 受付の中止および取消

委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等）があるときは、取得の申込みの受付を中止すること、および既に受け付けた取得の申込みの受付を取り消すことができます。

金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号口に規定する外国金融商品市場をいいます。

### 2【換金（解約）手続等】

#### <解約請求による換金>

- (1) 解約の受付  
販売会社の営業日に受け付けます。
- (2) 取扱時間  
原則として、午後3時までに、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。なお、上記時刻を過ぎた場合は、翌営業日の扱いとなります。
- (3) 解約請求不可日  
販売会社の営業日であっても、解約請求日がニューヨーク、ルクセンブルグもしくは香港の銀行休業日またはニューヨーク証券取引所の休業日に該当する場合は、解約請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- (4) 解約制限  
信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口解約には制限を設ける場合があります。
- (5) 解約価額  
解約請求受付日の翌営業日の基準価額とします。  
・基準価額につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。

委託会社の照会先

<UBSアセット・マネジメント株式会社>

ホームページアドレス：<http://www.ubs.com/japanfunds/>

電話番号：03-5293-3700（営業日の9:00-17:00）

- (6) 手取額  
1口当たりの手取額は、解約価額に基づいて計算された金額となります。  
上記の手取額は、確定拠出年金法に規定する資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合を記載しています。  
税法または確定拠出年金法が改正された場合などには、課税上の取扱いが変更になる場合があります。
- (7) 解約単位  
販売会社が独自に定める単位とします。  
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- (8) 解約代金の支払い  
原則として、解約請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
- (9) 受付の中止および取消  
・委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等）があるときは、解約請求の受付を中止すること、および既に受け付けた解約請求の受付を取り消すことができます。  
・解約請求の受付が中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行なった当日の解約請求を撤回できます。ただし、受益者がその解約請求を撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日（この計算日が解約請求を受け付けない日であるときは、この計算日以降の最初の解約請求を受け付けることができる日とします。）に解約請求を受け付けたものとして取り扱います。

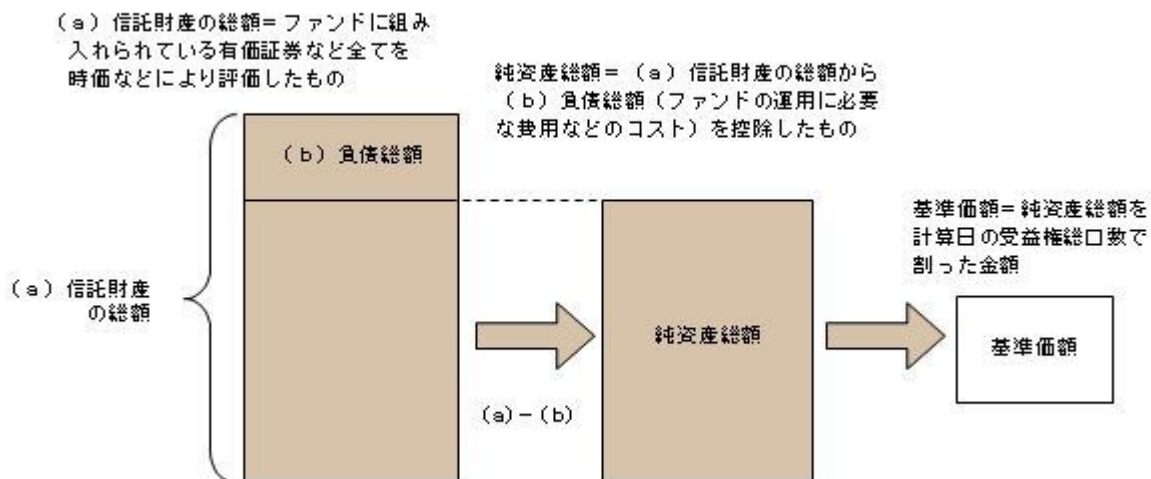
### 3【資産管理等の概要】

#### (1)【資産の評価】

##### 基準価額の算出

- ・基準価額は委託会社の営業日において日々算出されます。
- ・基準価額とは、信託財産に属する資産を評価して得た信託財産の総額から負債総額を控除した金額（純資産総額）を、計算日における受益権総口数で除した金額をいいます。なお、ファンドは1万口当たり換算した価額で表示することがあります。

### <基準価額算出の流れ>



#### 有価証券などの評価基準

- 信託財産に属する資産については、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って時価または一部償却原価法により評価します。

#### <主な資産の評価方法>

##### マザーファンド受益証券

基準価額計算日の基準価額で評価します。

##### 投資信託証券

原則として、基準価額計算日に知りうる直近の日の基準価額で評価します。

- 外貨建資産（外国通貨表示の有価証券、預金その他の資産をいいます。）の円換算については、原則としてわが国における計算日の対顧客相場の仲値によって計算します。

#### 基準価額の照会方法

販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。

#### 委託会社の照会先

<UBSアセット・マネジメント株式会社>

ホームページアドレス：<http://www.ubs.com/japanfunds/>

電話番号：03-5293-3700（営業日の9:00-17:00）

#### (2) 【保管】

該当事項はありません。

#### (3) 【信託期間】

無期限とします（2015年8月18日設定）。ただし、約款の規定に基づき、信託契約を解約し、信託を終了させることがあります。

#### (4) 【計算期間】

毎年8月11日から翌年8月10日までとします。ただし、各計算期間の末日が休業日のときはその翌営業日を計算期間の末日とし、その翌日より次の計算期間が開始されます。

#### (5) 【その他】

##### 信託の終了（繰上償還）

- 委託会社は、次のいずれかの場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し繰上償還させることができます。
  - 受益者の解約により純資産総額が10億円を下回るようになった場合
  - 繰上償還することが受益者のために有利であると認めるとき

八) やむを得ない事情が発生したとき

- 2) この場合、委託会社は書面による決議（以下「書面決議」といいます。）を行ないます。（後述の「書面決議」をご覧ください。）
  - 3) 委託会社は、次のいずれかの場合には、後述の「書面決議」の規定は適用せず、信託契約を解約し繰上償還させます。
    - イ) 信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合で、書面決議が困難な場合
    - ロ) 監督官庁よりこの信託契約の解約の命令を受けたとき
    - ハ) 委託会社が監督官庁より登録の取消を受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したとき（監督官庁がこの信託契約に関する委託会社の業務を他の委託会社に引き継ぐことを命じたときは、書面決議で可決された場合、存続します。）
  - 二) 受託会社が委託会社の承諾を受けてその任務を辞任した場合またはその任務に違反するなどして解任された場合に、委託会社が新受託会社を選任できないとき
- 4) 繰上償還を行なう際には、委託会社は、その旨をあらかじめ監督官庁に届け出ます。

償還金について

- ・ 償還金は、信託終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日（原則として償還日（償還日が休業日の場合は翌営業日）から起算して5営業日まで）から受益者に支払います。
- ・ 償還金の支払いは、販売会社において行なわれます。

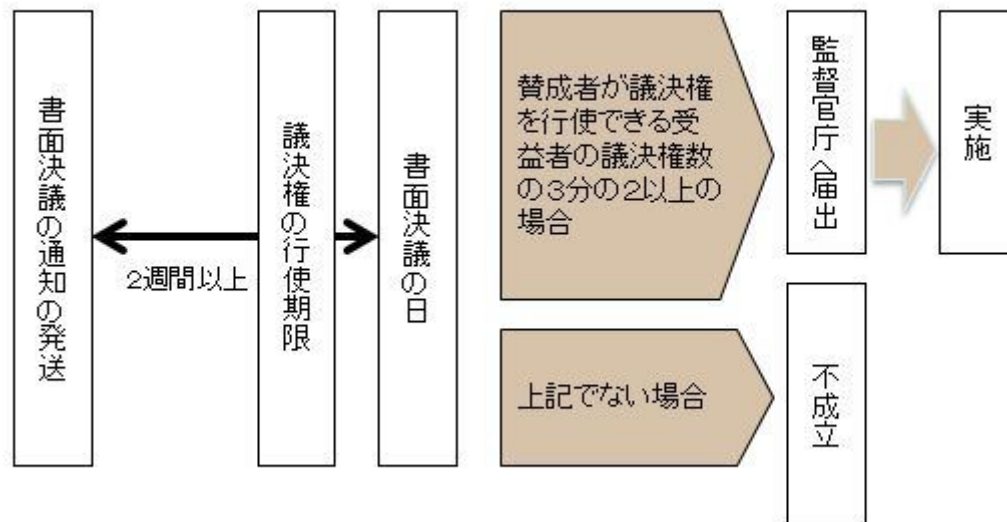
信託約款の変更など

- 1) 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意の上、この信託約款を変更すること、または当ファンドと他のファンドとの併合（以下「併合」といいます。）を行なうことができます。信託約款の変更または併合を行なう際には、委託会社は、その旨および内容をあらかじめ監督官庁に届け出ます。
- 2) この変更事項のうち、その内容が重大なものまたは併合（受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものを除きます。）については、書面決議を行ないます。（後述の「書面決議」をご覧ください。）
- 3) 委託会社は、監督官庁の命令に基づいてこの信託約款を変更しようとするときは、後述の「書面決議」の規定を適用します。

書面決議

- 1) 繰上償還、信託約款の重大な変更または併合に対して、委託会社は書面決議を行ないます。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびにその内容および理由などの事項を定め、決議の日の2週間前までに知っている受益者に対し書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発送します。
- 2) 受益者は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、知っている受益者が議決権を行使しないときは、書面決議について賛成するものとみなします。
- 3) 書面決議は、議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行ないます。
- 4) 繰上償還、信託約款の重大な変更または併合に関する委託会社の提案に対して、すべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、書面決議を行ないません。
- 5) 当ファンドにおいて併合の書面決議が可決された場合であっても、併合にかかる他のファンドにおいて併合の書面決議が否決された場合は、当該他のファンドとの併合を行なうことはできません。
- 6) 当ファンドは、受益者からの換金請求に対して、投資信託契約の一部を解約することにより応じることができるため、受益者の保護に欠けるおそれがないものとして、書面決議において反対した受益者からの買取請求は受け付けません。

## &lt; 書面決議の主な流れ &gt;



## 公告

公告は日本経済新聞に掲載します。

## 運用報告書の作成

- ・委託会社は、毎期決算後および償還後に期中の運用経過、組入有価証券の内容および有価証券の売買状況などを記載した運用報告書を作成します。
- ・交付運用報告書は、原則として知っている受益者に対して交付されます。
- ・運用報告書（全体版）は、委託会社のホームページに掲載されます。ただし、受益者から運用報告書（全体版）の交付請求があった場合には、交付します。

ホームページ アドレス <http://www.ubs.com/japanfunds/>

## 関係法人との契約について

- ・販売会社との募集の取扱いなどに関する契約の有効期間は契約日より1年間とします。ただし、期間満了の3ヵ月前までに、販売会社、委託会社いずれからも別段の意思表示がないときは、自動的に1年間延長されるものとし、以後も同様とします。
- ・投資顧問会社とのマザーファンドにおける運用の指図に関する権限の委託契約は、当該ファンドの信託期間終了まで存続します。ただし、投資顧問会社、委託会社が重大な契約違反を行なったとき、その他契約を継続し難い重大な事由があるときは、相手方に通知をなすことにより契約を終了することができます。

## 他の受益者の氏名などの開示の請求の制限

受益者は、委託会社または受託会社に対し、次に掲げる事項の開示の請求を行なうことはできません。

1. 他の受益者の氏名または名称および住所
2. 他の受益者が有する受益権の内容

## 4【受益者の権利等】

受益者の有する主な権利は次の通りです。

## (1) 収益分配金・償還金受領権

- ・受益者は、ファンドの収益分配金・償還金を、自己に帰属する受益権の口数に応じて受領する権利を有します。
- ・ただし、受益者が収益分配金については支払開始日から5年間、償還金については支払開始日から10年間請求を行なわない場合はその権利を失い、その金銭は委託会社に帰属します。

## (2) 解約請求権

受益者は、自己に帰属する受益権につき販売会社を通じて、委託会社に解約の請求をすることができます。

## (3) 帳簿閲覧権

受益者は、委託会社に対し、その営業時間内にファンドの信託財産に関する帳簿書類の閲覧を請求することができます。

### 第3【ファンドの経理状況】

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3期計算期間(2017年8月11日から2018年8月10日まで)の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人により監査を受けております。

#### 1【財務諸表】

## 【U B S D C コア戦略ファンド】

## ( 1 ) 【貸借対照表】

( 単位：円 )

	前期 2017年 8月10日現在	当期 2018年 8月10日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	933,365	69,493
親投資信託受益証券	26,073,771	32,331,417
未収入金	-	300,000
流動資産合計	27,007,136	32,700,910
資産合計	27,007,136	32,700,910
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払解約金	-	120,632
未払受託者報酬	5,129	8,664
未払委託者報酬	81,967	138,660
未払利息	2	-
その他未払費用	7,904	13,028
流動負債合計	95,002	280,984
負債合計	95,002	280,984
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	27,305,936	32,901,462
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金 ( )	393,802	481,536
( 分配準備積立金 )	655,998	612,660
元本等合計	26,912,134	32,419,926
純資産合計	26,912,134	32,419,926
負債純資産合計	27,007,136	32,700,910

## ( 2 ) 【損益及び剰余金計算書】

( 単位：円 )

	前期		当期	
	自 至	2016年 8月11日 2017年 8月10日	自 至	2017年 8月11日 2018年 8月10日
営業収益				
有価証券売買等損益		1,102,468		192,646
営業収益合計		1,102,468		192,646
営業費用				
支払利息		120		334
受託者報酬		9,012		16,450
委託者報酬		143,861		263,245
その他費用		13,486		23,894
営業費用合計		166,479		303,923
営業利益又は営業損失 ( )		935,989		111,277
経常利益又は経常損失 ( )		935,989		111,277
当期純利益又は当期純損失 ( )		935,989		111,277
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額 ( )		54,352		69
期首剰余金又は期首欠損金 ( )		976,715		393,802
剰余金増加額又は欠損金減少額		194,507		102,421
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		194,507		102,421
剰余金減少額又は欠損金増加額		493,231		78,947
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		493,231		78,947
分配金		-		-
期末剰余金又は期末欠損金 ( )		393,802		481,536



## (3)【注記表】

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	金融商品の時価に関する補足情報 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

## (貸借対照表に関する注記)

項目		前期 2017年 8月10日現在	当期 2018年 8月10日現在
1.	計算期間末日における受益権の総数	27,305,936口	32,901,462口
2.	元本の欠損	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は393,802円です。	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は481,536円です。
3.	計算期間末日における1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.9856円 (9,856円)	0.9854円 (9,854円)

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期 自 2016年 8月11日 至 2017年 8月10日		当期 自 2017年 8月11日 至 2018年 8月10日	
1. 分配金の計算過程		1. 分配金の計算過程	
A	費用控除後の配当等収益額 209,489円	A	費用控除後の配当等収益額 114,903円
B	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 412,024円	B	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 0円
C	収益調整金額 99,337円	C	収益調整金額 428,696円
D	分配準備積立金額 34,485円	D	分配準備積立金額 497,757円
E	当ファンドの分配対象収益額 755,335円	E	当ファンドの分配対象収益額 1,041,356円
F	10,000口当たり収益分配対象額 276円	F	10,000口当たり収益分配対象額 316円
G	10,000口当たり分配金額 0円	G	10,000口当たり分配金額 0円
H	収益分配金金額 0円	H	収益分配金金額 0円
2. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額		2. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額	

報酬対象期間の日々におけるベビーファンドの信託財産に属する当該マザーファンドの受益証券の純資産総額に年率0.156%以内を乗じて日割り計算し、当該報酬対象期間に応じて合計した金額	同左
---	----

## (金融商品に関する注記)

## . 金融商品の状況に関する事項

項目	前期 自 2016年 8月11日 至 2017年 8月10日	当期 自 2017年 8月11日 至 2018年 8月10日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託として、親投資信託受益証券等の金融商品を主要投資対象とし、信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき運用を行っております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、親投資信託受益証券、コール・ローン等の金銭債権および金銭債務です。また、当ファンドが親投資信託受益証券への投資を通じて保有する主な金融資産は、投資信託受益証券、投資証券、為替予約取引です。これらは、株価変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク、流動性リスクに晒されております。	同左

3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>取引の執行については、投資対象、投資制限等を規定した運用ガイドラインに従って運用部門が執行します。</p> <p>管理部門は、運用ガイドラインに則って適切な運用がされているかおよび、運用結果の定期的な検証を通じて、下記に掲げる各種リスクが適切に管理されていることをモニタリングしています。</p> <p>また、それらの状況は定期的開催される各委員会に報告され、状況の把握・確認が行われるほか、適切な運営について検証が行われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場リスク</li> </ul> <p>ファンドのパフォーマンスが一定の許容範囲内にあるかどうかモニタリングし、リターンの大きな変動を注視することで市場リスクが適切に管理されていることを確認しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信用リスク、流動性リスク</li> </ul> <p>運用ガイドラインに従って、証券格付や、証券や発行体への集中投資制限をモニタリングし、投資対象に関するこれらのリスクが適切に管理されていることを確認しています。</p> <p>また、取引先の信用リスクについては、グループポリシーで認められた相手に限定することで、これを管理しています。</p>	同左
-------------------	--	----

## . 金融商品の時価等に関する事項

項目	前期 2017年 8月10日現在	当期 2018年 8月10日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	金融商品は原則として全て時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 金融商品時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	<p>(1)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品</p> <p>有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済されることから、帳簿価額は時価と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。</p> <p>(2)有価証券 売買目的有価証券</p> <p>重要な会計方針に係る事項に関する注記「1.有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。</p> <p>(3)デリバティブ取引</p>	<p>(1)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品</p> <p>同左</p> <p>(2)有価証券 売買目的有価証券</p> <p>同左</p> <p>(3)デリバティブ取引</p>

	デリバティブ取引等に関する注記に記載 しております。	同左
--	-------------------------------	----

## (有価証券に関する注記)

## 売買目的有価証券

種類	前期 2017年 8月10日現在	当期 2018年 8月10日現在
	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
親投資信託受益証券	1,072,574	150,889
合計	1,072,574	150,889

## (デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

## (関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

## (その他の注記)

項目	前期 自 2016年 8月11日 至 2017年 8月10日	当期 自 2017年 8月11日 至 2018年 8月10日
	元本の推移	
期首元本額	14,421,160円	27,305,936円
期中追加設定元本額	15,975,130円	14,016,204円
期中一部解約元本額	3,090,354円	8,420,678円

## (4)【附属明細表】

第1 有価証券明細表  
株式

該当事項はありません。

## 株式以外の有価証券

種 類	銘 柄	券面総額	評価額(円)	備考
親投資信託受益証券	U B S ディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド	18,393,115	32,331,417	
合計		18,393,115	32,331,417	

(注)親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## (参考)

当ファンドは「U B S ディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同ファンドの受益証券です。なお、同ファンドの状況は以下の通りです。

「U B S ディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド」の状況  
なお、以下に記載した情報は監査の対象外です。

## U B S ディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド

## 貸借対照表

	(単位：円)	
	2017年 8月10日現在	2018年 8月10日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
預金	562,346,723	118,768,088
コール・ローン	59,623,668	68,306,388
投資信託受益証券	3,588,838,588	2,125,270,520
投資証券	1,181,464,003	933,478,064
派生商品評価勘定	61,109,217	6,962,961
未収入金	14,784,562	127,558,000
流動資産合計	5,468,166,761	3,380,344,021
資産合計	5,468,166,761	3,380,344,021
<b>負債の部</b>		
流動負債		
派生商品評価勘定	2,127,191	12,357
未払解約金	49,000,000	28,300,000
未払利息	153	192
流動負債合計	51,127,344	28,312,549
負債合計	51,127,344	28,312,549
純資産の部		

	2017年 8月10日現在	2018年 8月10日現在
元本等		
元本	3,116,070,935	1,906,990,140
剰余金		
剰余金又は欠損金( )	2,300,968,482	1,445,041,332
元本等合計	5,417,039,417	3,352,031,472
純資産合計	5,417,039,417	3,352,031,472
負債純資産合計	5,468,166,761	3,380,344,021

## 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。 投資証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、投資証券の基準価額または金融商品取引所における最終相場(最終相場のないものについては、それに準ずる価額)、または金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2.デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として、わが国における開示対象ファンドの期末日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。
3.外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における開示対象ファンドの期末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
4.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	(1)外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定および外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。 (2)金融商品の時価に関する補足情報 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(貸借対照表に関する注記)

項目	2017年 8月10日現在	2018年 8月10日現在
1. 開示対象ファンドの期末日における受益権の総数	3,116,070,935口	1,906,990,140口
2. 開示対象ファンドの期末日における1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.7384円 (17,384円)	1.7578円 (17,578円)

## （金融商品に関する注記）

## .金融商品の状況に関する事項

項目	自 2016年 8月11日 至 2017年 8月10日	自 2017年 8月11日 至 2018年 8月10日
1.金融商品に対する取組方針	当ファンドは投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託として、投資信託受益証券、投資証券等の金融商品を主要投資対象とし、信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき運用を行っております。	同左
2.金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、投資信託受益証券、投資証券、為替予約取引、コール・ローン等の金銭債権および金銭債務です。また、当ファンドが投資信託受益証券および投資証券への投資を通じて保有する主な金融資産は、株式、公社債です。これらは、株価変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク、流動性リスクに晒されております。 なお、為替予約取引は、信託財産に属する有価証券、ならびに外貨建金銭債権債務の為替変動リスクを低減する目的で利用しております。	同左

3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>取引の執行については、投資対象、投資制限等を規定した運用ガイドラインに従って運用部門が執行します。</p> <p>管理部門は、運用ガイドラインに則って適切な運用がされているかおよび、運用結果の定期的な検証を通じて、下記に掲げる各種リスクが適切に管理されていることをモニタリングしています。</p> <p>また、それらの状況は定期的開催される各委員会に報告され、状況の把握・確認が行われるほか、適切な運営について検証が行われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場リスク</li> </ul> <p>ファンドのパフォーマンスが一定の許容範囲内にあるかどうかモニタリングし、リターンの大きな変動を注視することで市場リスクが適切に管理されていることを確認しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信用リスク、流動性リスク</li> </ul> <p>運用ガイドラインに従って、証券格付や、証券や発行体への集中投資制限をモニタリングし、投資対象に関するこれらのリスクが適切に管理されていることを確認しています。</p> <p>また、取引先の信用リスクについては、グループポリシーで認められた相手に限定することで、これを管理しています。</p>	同左
-------------------	--	----

## . 金融商品の時価等に関する事項

項目	2017年 8月10日現在	2018年 8月10日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	金融商品は原則として全て時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 金融商品時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	<p>(1)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品</p> <p>有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済されることから、帳簿価額は時価と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。</p> <p>(2)有価証券</p> <p>売買目的有価証券</p> <p>重要な会計方針に係る事項に関する注記「1.有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。</p> <p>(3)デリバティブ取引</p> <p>デリバティブ取引等に関する注記に記載しております。</p>	<p>(1)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品</p> <p>同左</p> <p>(2)有価証券</p> <p>売買目的有価証券</p> <p>同左</p> <p>(3)デリバティブ取引</p> <p>同左</p>



3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	デリバティブ取引に関する事項についての契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。	同左
---------------------------	---	----

## （有価証券に関する注記）

## 売買目的有価証券

種類	2017年 8月10日現在	2018年 8月10日現在
	当計算期間の損益に含まれた評価差額 （円）	当計算期間の損益に含まれた評価差額 （円）
投資信託受益証券	238,680,230	39,124,004
投資証券	24,079,992	10,732,038
合計	262,760,222	28,391,966

## （デリバティブ取引等に関する注記）

## 取引の時価等に関する事項

## 通貨関連

（2017年 8月10日現在）

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超（円）		
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建				
	米ドル	30,672,373	-	30,283,000	389,373
	ユーロ	23,460,822	-	23,311,800	149,022
	売建				
	米ドル	3,601,011,480	-	3,541,459,200	59,552,280
	ユーロ	694,527,454	-	696,116,250	1,588,796
	イギリス・ポンド	86,838,287	-	85,281,350	1,556,937
	合計	4,436,510,416	-	4,376,451,600	58,982,026

（2018年 8月10日現在）

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超（円）		
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建				
	米ドル	16,630,857	-	16,618,500	12,357

	売建				
	米ドル	2,291,101,328	-	2,289,545,350	1,555,978
	ユーロ	283,384,827	-	278,843,800	4,541,027
	イギリス・ポンド	38,578,106	-	37,712,150	865,956
	合計	2,629,695,118	-	2,622,719,800	6,950,604

## (注1)時価の算定方法

## 為替予約の時価

1. 開示対象ファンドの期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については以下のように評価しております。

開示対象ファンドの期末日において為替予約の受渡日(以下「当該日」といいます。)の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該対顧客先物売買相場の仲値により評価しております。

開示対象ファンドの期末日において当該日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は以下の方法によっております。

イ) 開示対象ファンドの期末日に当該日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後2つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算したレートにより評価しております。

ロ) 開示対象ファンドの期末日に当該日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値により評価しております。

2. 開示対象ファンドの期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、開示対象ファンドの期末日の対顧客電信売買相場の仲値により評価しております。

(注2)デリバティブ取引にヘッジ会計は適用されておりません。

## ( 関連当事者との取引に関する注記 )

該当事項はありません。

## ( その他の注記 )

項目	自 2016年 8月11日 至 2017年 8月10日	自 2017年 8月11日 至 2018年 8月10日
1. 元本の推移		
本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	7,479,197,976円	3,116,070,935円
期中追加設定元本額	12,693,847円	8,534,062円
期中一部解約元本額	4,375,820,888円	1,217,614,857円
2. 開示対象ファンドの期末日における元本の内訳		
UBS DCコア戦略ファンド	14,998,718円	18,393,115円
UBSコア・コンサパティブ・ファンド	3,101,072,217円	1,888,597,025円
合計	3,116,070,935円	1,906,990,140円

## 附属明細表

# 第1 有価証券明細表 株式

該当事項はありません。

## 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	米ドル	UBS(CAY)グローバル・グロース・アンド・インカム クラスA	167,938.642	17,668,152.77	
	米ドル 小計		167,938.642	17,668,152.77 (1,959,751,505)	
	ユーロ	UBS(Lux)インスティテューショナル・ファンド-ユーロ・コーポレート・ボンド BAクラス	6,549.564	1,294,128.35	
	ユーロ 小計		6,549.564	1,294,128.35 (165,519,015)	
投資信託受益証券合計				2,125,270,520 (2,125,270,520)	
投資証券	米ドル	iシェアーズ J.P.モルガンドル建て新興国債券ETF	5,150	548,423.50	
		iシェアーズ 世界債券ETF	22,850	2,413,302.75	
		UBS(Lux)キー・セレクション・シキャブ-ダイナミック・アルファ(USD)I-B-accクラス	11,249.94	1,428,404.88	
		UBS(Lux)ボンド・シキャブ-USDドル・コーポレートI-B-accクラス	24,499.762	3,885,417.25	
	米ドル 小計		63,749.702	8,275,548.38 (917,923,826)	
	ユーロ	iシェアーズ 欧州ハイイールド社債ETF	1,150	121,612.50	
	ユーロ 小計		1,150	121,612.50 (15,554,238)	
投資証券合計				933,478,064 (933,478,064)	
合計				3,058,748,584 (3,058,748,584)	

(注)

1. 投資信託受益証券、投資証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

2. 通貨種類毎の小計欄の( )内は、邦貨換算額です。
3. 合計金額欄の( )内は、外貨建有価証券に関わるもので内書きです。
4. 通貨の表示は、外貨についてはその通貨の単位、邦貨については円単位で表示しております。
5. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入投資信託 受益証券 時価比率	組入投資証券 時価比率	合計金額に 対する比率
米ドル	投資信託受益 証券	1銘柄	68.1%	64.1%
	投資証券	4銘柄		30.0%
ユーロ	投資信託受益 証券	1銘柄	91.4%	5.4%
	投資証券	1銘柄		0.5%

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。

（参考）

貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」および「投資証券」のうち、主要なものは以下の通りです。

ケイマン籍外国投資信託「UBS（CAY）グローバル・グロース・アンド・インカム クラスA」は、貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」に含まれる同ファンドの投資信託受益証券です。

ケイマン籍外国投資信託「UBS（CAY）グローバル・グロース・アンド・インカム クラスA」の状況は次の通りです。

なお、以下に記載した情報は監査の対象外です。

ケイマン籍外国投資信託「UBS（CAY）グローバル・グロース・アンド・インカム クラスA」の運用状況

ご参考として、掲載されているファンドの損益計算書および投資有価証券その他の純資産明細表は、2017年12月31日現在の現地Annual Reportからの抜粋であり、現地の会計基準に基づき作成され、監査を受けたものです。

### 損益計算書

自 2017年1月1日 至 2017年12月31日

米ドル

収益	
受取利息	5,222
配当収入	937,161
金融資産、負債及び外国通貨取引に係る実現純利益	1,619,172
金融資産、負債及び外国通貨取引に係る未実現評価益の純変動額	2,103,153
収益合計	4,664,708

### 費用

保管料	98,011
専門家報酬	41,760
管理費	20,673
取引手数料	16,060

信託報酬	10,001
名義書換代理人手数料	1,787
その他費用	428
費用合計	188,720
営業利益	4,475,988
金融費用	
償還可能投資信託受益証券保有者への分配金	(629,466)
分配後および税引前利益	3,846,522
源泉徴収税	(65,813)
解約可能受益者に属する純資産の増減額	3,780,709

## 2017年12月31日現在の投資有価証券その他の純資産明細表

株数	銘柄	純資産比率 (%)	公正価値 米ドル
	普通株式		
	オーストラリア		
	土木・建設		
619	CIMIC Group, Ltd.	0.1	24,910
	鉄鋼		
14,617	Fortescue Metals Group, Ltd.	0.2	55,791
	レジャー		
443	Flight Centre Travel Group, Ltd.	0.1	15,329
	通信		
13,742	Telstra Corp., Ltd.	0.1	39,016
	オーストラリア合計		135,046
	オーストリア		
	銀行		
1,640	Raiffeisen Bank International AG	0.2	59,473
	石油・ガス		
1,533	OMV AG	0.4	97,251
	オーストリア合計		156,724
	ベルギー		
	銀行		
344	KBC Group NV	0.1	29,374
	ベルギー合計		29,374
	バミューダ		
	投資会社		
16,628	Blue Capital Global Reinsurance Fund, Ltd.	0.1	18,828
	バミューダ合計		18,828
	カナダ		
	衣服		
370	Gildan Activewear, Inc. Class A	0.1	11,992
	自動車部品・機器		
1,024	Linamar Corp.	0.2	59,832
1,753	Magna International, Inc.	0.4	99,672
			159,504
	銀行		
563	Canadian Imperial Bank of Commerce	0.2	55,062
	コンピューター		
1,521	BlackBerry, Ltd.	0.1	17,044
	食品		
3,629	Empire Co., Ltd.	0.3	70,932
872	Metro, Inc.	0.1	28,012
317	Saputo, Inc.	0.0	11,431
			110,375
	鉱業		
2,060	Lundin Mining Corp.	0.0	13,745
3,578	Teck Resources, Ltd. Class B	0.4	93,865
			107,610
	小売		
389	Canadian Tire Corp., Ltd. Class A	0.2	50,886
	カナダ合計		512,473
	デンマーク		
	バイオテクノロジー		
323	H Lundbeck A/S	0.1	16,409
	代替エネルギー資源		
1,154	Vestas Wind Systems A/S	0.3	79,807
	デンマーク合計		96,216
株数	銘柄	純資産比率 (%)	公正価値 米ドル
	フィンランド		
	林産品・紙		
3,253	UPM-Kymmene OYJ	0.4	101,210
	石油・ガス		
1,252	Neste OYJ	0.3	80,206
	フィンランド合計		181,416
	フランス		
	自動車		
581	Peugeot SA	0.0	11,829
	銀行		



900	Taisei Corp.	0.2	44,820
	娯楽		73,688
2,000	Sega Sammy Holdings, Inc.	0.1	24,820
	環境制御		
1,800	Kurita Water Industries, Ltd.	0.2	58,482
	ガス		
2,200	Osaka Gas Co., Ltd.	0.2	42,379
	住宅		
1,900	Sekisui Chemical Co., Ltd.	0.1	38,152
	建設・鉱山機械		
1,000	Hitachi, Ltd.	0.0	7,793
	機械		
3,900	Amada Holdings Co., Ltd.	0.2	53,108
	各種機械		
1,000	FUJIFILM Holdings Corp.	0.2	40,879
	石油・ガス		
2,000	JXTG Holdings, Inc.	0.1	12,907
4,600	Showa Shell Sekiyu KK	0.2	62,477
			75,384

株数	銘柄	純資産比率 (%)	公正価値 米ドル
	不動産		
500	Daito Trust Construction Co., Ltd.	0.4	101,975
	小売		
200	Lawson, Inc.	0.1	13,298
	通信		
1,600	KDDI Corp.	0.2	39,833
	運輸		
500	Central Japan Railway Co.	0.3	89,570
	日本合計		1,353,889
	オランダ		
1,276	Koninklijke Philips NV	0.2	48,326
	電子機器		
	投資会社		
299	EXOR NV	0.1	18,347
	石油・ガス		
3,134	Royal Dutch Shell Plc. Class B	0.4	106,348
	パイプライン		
290	Koninklijke Vopak NV	0.0	12,735
	オランダ合計		185,756
	ノルウェー		
1,118	Statoil ASA	0.1	23,947
	石油・ガス		23,947
	ノルウェー合計		
	シンガポール		
	食品		
26,500	Wilmar International, Ltd.	0.2	61,273
	シンガポール合計		61,273
	南アフリカ		
	林産品・紙		
582	Mondi Plc.	0.1	15,203
	南アフリカ合計		15,203
	スペイン		
	銀行		
21,161	CaixaBank SA	0.4	98,820
	土木・建設		
1,002	ACS Actividades de Construccion y Servicios SA	0.2	39,248
286	Aena SME SA	0.2	58,040
			97,288
	石油・ガス		
5,212	Repsol SA	0.3	92,283
	スペイン合計		288,391
	スウェーデン		
	農業		
695	Swedish Match AB	0.1	27,435
	自動車		
2,089	Volvo AB Class B	0.1	38,961
	工作機械		
2,431	Sandvik AB	0.2	42,667
	スウェーデン合計		109,063
	スイス		
	電子機器		
202	Garmin, Ltd.	0.0	12,033
	保険		
293	Baloise Holding AG	0.2	45,611
354	Zurich Insurance Group AG	0.4	107,744
			153,355
	スイス合計		165,388

株数	銘柄	純資産比率 (%)	公正価値 米ドル
	イギリス		
	衣服		
915	Michael Kors Holdings, Ltd.	0.2	57,599
	食品		

12,036	J Sainsbury Plc.	0.2	39,304
27,256	Wm Morrison Supermarkets Plc.	0.3	81,078
			120,382
	住宅		
7,166	Barratt Developments Plc.	0.2	62,768
1,559	Berkeley Group Holdings Plc.	0.3	88,512
5,911	Taylor Wimpey Plc.	0.1	16,504
			167,784
	保険		
6,166	Legal & General Group Plc.	0.1	22,796
	通信		
13,146	Vodafone Group Plc.	0.2	41,791
	運輸		
3,798	Royal Mail Plc.	0.1	23,248
	イギリス合計		433,600
	アメリカ合衆国		
	農業		
453	Archer-Daniels-Midland Co.	0.1	18,156
	自動車部品・機器		
535	Lear Corp.	0.4	94,513
	銀行		
357	Capital One Financial Corp.	0.1	35,550
1,144	Comerica, Inc.	0.4	99,311
2,578	Fifth Third Bancorp	0.3	78,216
1,739	JPMorgan Chase & Co.	0.7	185,969
1,031	KeyCorp	0.1	20,795
586	PNC Financial Services Group, Inc.	0.3	84,554
1,274	Regions Financial Corp.	0.1	22,015
905	US Bancorp	0.2	48,490
1,441	Wells Fargo & Co.	0.4	87,425
			662,325
	飲料		
1,205	PepsiCo, Inc.	0.6	144,504
	バイオテクノロジー		
733	Amgen, Inc.	0.5	127,469
133	Biogen, Inc.	0.2	42,370
260	Celgene Corp.	0.1	27,133
1,595	Gilead Sciences, Inc.	0.4	114,266
			311,238
	化学		
164	Monsanto Co.	0.1	19,152
	商用サービス		
3,686	H&R Block, Inc.	0.4	96,647
957	Total System Services, Inc.	0.3	75,689
			172,336
	コンピューター		
895	Apple, Inc.	0.6	151,461
3,249	Hewlett Packard Enterprise Co.	0.2	46,656
569	International Business Machines Corp.	0.3	87,296
2,044	Seagate Technology Plc.	0.3	85,521
569	Western Digital Corp.	0.2	45,252
			416,186
		純資産比率	公正価値
	株数	(%)	米ドル
	各種金融サービス		
147	Alliance Data Systems Corp.	0.2	37,262
288	Ameriprise Financial, Inc.	0.2	48,807
1,185	SEI Investments Co.	0.3	85,154
			171,223
	電力		
1,134	FirstEnergy Corp.	0.2	34,723
1,866	Vistra Energy Corp.	0.1	34,185
			68,908
	電子機器		
477	Waters Corp.	0.4	92,152
	土木・建設		
1,306	Fluor Corp.	0.3	67,455
	食品		
1,109	Campbell Soup Co.	0.2	53,354
	ヘルスケア製品		
758	Baxter International, Inc.	0.2	48,997
849	Varian Medical Systems, Inc.	0.3	94,366
			143,363
	ヘルスケアサービス		
982	Centene Corp.	0.4	99,064
964	HCA Healthcare, Inc.	0.3	84,678
404	Humana, Inc.	0.4	100,220
			283,962
	家庭用品		
741	Avery Dennison Corp.	0.3	85,111
199	Church & Dwight Co., Inc.	0.1	9,984
			95,095
	保険		
412	Aflac, Inc.	0.1	36,165
1,105	Athene Holding, Ltd. Class A	0.2	57,140
626	Reinsurance Group of America, Inc. Class A	0.4	97,612
			190,917
	インターネット		
40	Alphabet, Inc. Class A	0.2	42,136



## 有価証券届出書(内国投資信託受益証券)

44	Alphabet, Inc. Class C	0.2	46,042
68	Amazon.com, Inc.	0.3	79,524
584	F5 Networks, Inc.	0.3	76,632
156	Facebook, Inc. Class A	0.1	27,528
			<u>271,862</u>
	レジャー		
743	Carnival Corp.	0.2	49,313
715	Carnival Plc.	0.2	47,316
288	Royal Caribbean Cruises, Ltd.	0.1	34,353
			<u>130,982</u>
	メディア		
3,237	Discovery Communications, Inc. Class A	0.3	72,444
977	Time Warner, Inc.	0.3	89,366
			<u>161,810</u>
	石油・ガス		
143	Exxon Mobil Corp.	0.0	11,960
1,618	Marathon Petroleum Corp.	0.4	106,756
1,023	Valero Energy Corp.	0.4	94,024
			<u>212,740</u>

株数	銘柄	純資産比率 (%)	公正価値 米ドル
	医薬品		
1,397	AbbVie, Inc.	0.5	135,104
725	Bristol-Myers Squibb Co.	0.2	44,428
1,337	Eli Lilly & Co.	0.4	112,923
1,535	Express Scripts Holding Co.	0.4	114,572
92	Johnson & Johnson	0.1	12,854
			<u>419,881</u>
	不動産投信		
1,600	Annaly Capital Management, Inc.	0.1	19,024
4,800	Host Hotels & Resorts, Inc.	0.4	95,280
10,353	VEREIT, Inc.	0.3	80,650
			<u>194,954</u>
	小売		
810	Best Buy Co., Inc.	0.2	55,461
682	CVS Health Corp.	0.2	49,445
72	Home Depot, Inc.	0.1	13,646
1,015	Kohl's Corp.	0.2	55,043
2,121	Macy's, Inc.	0.2	53,428
522	Nordstrom, Inc.	0.1	24,732
465	Tapestry, Inc.	0.1	20,567
594	Target Corp.	0.2	38,759
158	Walgreens Boots Alliance, Inc.	0.0	11,474
662	Yum! Brands, Inc.	0.2	54,026
			<u>376,581</u>
	貯蓄貸付組合		
764	People's United Financial, Inc.	0.0	14,287
	半導体		
1,458	Applied Materials, Inc.	0.3	74,533
2,413	Intel Corp.	0.4	111,384
940	KLA-Tencor Corp.	0.4	98,766
547	Lam Research Corp.	0.4	100,687
1,476	Maxim Integrated Products, Inc.	0.3	77,165
639	Texas Instruments, Inc.	0.3	66,737
1,360	Xilinx, Inc.	0.3	91,691
			<u>620,963</u>
	ソフトウェア		
671	Intuit, Inc.	0.4	105,870
1,320	Microsoft Corp.	0.4	112,913
1,727	Oracle Corp.	0.3	81,653
763	VMware, Inc. Class A	0.4	95,619
			<u>396,055</u>
	通信		
3,066	Cisco Systems, Inc.	0.5	117,428
3,082	Juniper Networks, Inc.	0.3	87,837
			<u>205,265</u>
	運輸		
1,233	Expeditors International of Washington, Inc.	0.3	79,763
	アメリカ合衆国合計		<u>6,089,982</u>
	普通株式合計		<u>\$ 11,387,670</u>
	投資会社		
	バミューダ		
500,500	Catco Reinsurance Opportunities Fund, Ltd.	2.0	508,008
	バミューダ合計		<u>508,008</u>

株数	銘柄	純資産比率 (%)	公正価値 米ドル
	ガーンジー		
264,000	HIIC Infrastructure Co., Ltd.	2.2	564,973
268,172	International Public Partnerships, Ltd.	2.2	568,460
630,000	NB Global Floating Rate Income Fund, Ltd.	3.2	807,064
487,179	Sequoia Economic Infrastructure Income Fund, Ltd.	2.9	744,706
			<u>2,685,203</u>
	ガーンジー合計		<u>2,685,203</u>
	アイルランド		
9,100	iShares Core EUR Corp. Bond UCITS ETF	5.6	1,430,599

## 有価証券届出書 (内国投資信託受益証券)

20,100	iShares Edge MSCI Emerging Markets Minimum Volatility UCITS ETF	2.4	604,809
6,700	iShares EUR High Yield Corp. Bond UCITS ETF	3.4	863,911
10,200	iShares JP Morgan \$ Emerging Markets Bond UCITS ETF	4.5	1,168,410
2,200	iShares MSCI EMU Small Capital UCITS ETF EUR Acc	2.1	537,915
17,800	iShares USD Corp. Bond UCITS ETF	8.1	2,077,438
12,200	iShares USD High Yield Corp. Bond UCITS ETF	4.9	1,265,384
			<u>7,948,466</u>
	アイルランド合計		<u>7,948,466</u>
	シンガポール		
116,600	iShares J.P. Morgan USD Asia Credit Bond Index ETF	4.9	1,254,616
	シンガポール合計		<u>1,254,616</u>
	イギリス		
134,068	3i Infrastructure Plc.	1.5	377,230
	イギリス合計		<u>377,230</u>
	投資会社		<u>12,773,523</u>

## 2017年12月31日現在の未決済先物契約

ポジション	銘柄	限月	契約数	未実現利益 (損失) (単位: 米ドル)
Long	Canada Government 10-Year Bond	03/2018	19	(27,224)
Long	Euro Stoxx Bank Future	03/2018	62	(16,043)
Long	HSCEI Index Future	01/2018	16	25,942
Long	Mini Msci Emg Market Future	03/2018	18	36,900
Long	Topix Index Future	03/2018	2	3,791
Long	US 10 Year Note (CBT) Future	03/2018	24	(15,375)
Long	US Ultra Bond (CBT) Future	03/2018	4	2,187
Short	Dax Index Future	03/2018	(2)	13,149
Short	FTSE China A50 Future	01/2018	(60)	675
Short	MSCI Taiwan Index Future	01/2018	(12)	(7,320)
Short	S&P 500 Future	03/2018	(10)	(11,075)
Short	US 2 Year Note (CBT) Future	03/2018	(19)	8,015
				<u>13,622</u>

## 2017年12月31日現在の未決済為替予約取引 (対純資産比率 - 0.4%)

買	相手方	約定金額	予約期日	売	約定金額	未実現 評価損	未実現 評価損	未実現純益 (純損)
CNY	Citibank NA	1,890,000	01/09/2018	USD	285,783	\$ 4,362	\$ -	\$ 4,362
COP	JP Morgan Chase & Co.	634,115,288	01/09/2018	USD	209,892	2,459	-	2,459
COP	HSBC Bank Plc.	634,115,288	02/09/2018	USD	213,055	-	(1,349)	(1,349)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	41,500,000	01/23/2018	USD	369,493	-	(722)	(722)
KRW	Citibank NA	177,000,000	01/09/2018	USD	163,556	1,820	-	1,820
MXN	Brown Brothers Harriman & Co.	6,170,000	01/23/2018	USD	321,353	-	(7,291)	(7,291)
SEK	Brown Brothers Harriman & Co.	2,380,000	01/23/2018	USD	282,267	8,794	-	8,794
TRY	Brown Brothers Harriman & Co.	1,010,000	01/23/2018	USD	259,519	5,246	-	5,246
TWD	Citibank NA	3,800,000	01/09/2018	USD	127,248	482	-	482
USD	Credit Suisse AG	281,659	01/09/2018	CLP	178,600,000	-	(8,757)	(8,757)
USD	HSBC Bank Plc.	213,579	01/09/2018	COP	634,115,288	1,228	-	1,228
USD	Brown Brothers Harriman & Co.	357,625	01/23/2018	CAD	460,000	-	(9,627)	(9,627)
USD	Brown Brothers Harriman & Co.	143,872	01/23/2018	ILS	505,000	-	(1,709)	(1,709)
USD	Brown Brothers Harriman & Co.	241,322	01/23/2018	HKD	1,885,000	80	-	80
USD	Brown Brothers Harriman & Co.	1,827,859	01/23/2018	EUR	1,545,000	-	(29,704)	(29,704)
USD	Brown Brothers Harriman & Co.	255,721	01/23/2018	NZD	365,000	-	(3,798)	(3,798)
USD	Brown Brothers Harriman & Co.	2,137,186	01/23/2018	CHF	2,105,000	-	(26,108)	(26,108)
USD	Brown Brothers Harriman & Co.	292,553	01/23/2018	ZAR	3,820,000	-	(14,986)	(14,986)
USD	Brown Brothers Harriman & Co.	2,917,854	01/23/2018	GBP	2,180,000	-	(33,189)	(33,189)
USD	Morgan Stanley & Co.	260,554	01/23/2018	TRY	1,010,000	-	(4,213)	(4,213)
ZAR	JP Morgan Chase & Co.	3,820,000	01/23/2018	USD	297,398	10,142	-	10,142
						<u>\$ 34,613</u>	<u>\$ (141,453)</u>	<u>\$ (106,840)</u>

【中間財務諸表】

- (1) 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)ならびに同規則第38条の3及び第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。  
なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間計算期間(2018年 8月11日から2019年 2月10日まで)の中間財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人により中間監査を受けております。

## 【UBS DCコア戦略ファンド】

## (1)【中間貸借対照表】

(単位:円)

	前計算期間末 2018年 8月10日現在	当中間計算期間末 2019年 2月10日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	69,493	66,228
親投資信託受益証券	32,331,417	33,378,900
未収入金	300,000	160,000
流動資産合計	32,700,910	33,605,128
資産合計	32,700,910	33,605,128
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払解約金	120,632	-
未払受託者報酬	8,664	8,709
未払委託者報酬	138,660	139,289
その他未払費用	13,028	11,826
流動負債合計	280,984	159,824
負債合計	280,984	159,824
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	32,901,462	35,206,429
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金( )	481,536	1,761,125
(分配準備積立金)	612,660	564,864
元本等合計	32,419,926	33,445,304
純資産合計	32,419,926	33,445,304
負債純資産合計	32,700,910	33,605,128

## ( 2 ) 【中間損益及び剰余金計算書】

( 単位 : 円 )

	前中間計算期間 自 2017年 8月11日 至 2018年 2月10日	当中間計算期間 自 2018年 8月11日 至 2019年 2月10日
営業収益		
有価証券売買等損益	191,536	982,517
営業収益合計	191,536	982,517
営業費用		
支払利息	330	2
受託者報酬	7,597	8,709
委託者報酬	121,561	139,289
その他費用	10,584	11,826
営業費用合計	140,072	159,826
営業利益又は営業損失( )	331,608	1,142,343
経常利益又は経常損失( )	331,608	1,142,343
中間純利益又は中間純損失( )	331,608	1,142,343
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額( )	23,501	58,894
期首剰余金又は期首欠損金( )	393,802	481,536
剰余金増加額又は欠損金減少額	53,220	45,027
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	44,473	45,027
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	8,747	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	-	241,167
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	241,167
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金( )	695,691	1,761,125

## (3) 【中間注記表】

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	(1) 金融商品の時価に関する補足情報 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 (2) 剰余金又は欠損金 中間貸借対照表における剰余金又は欠損金について、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第3条の2に基づき、当中間計算期間末の中間剰余金又は中間欠損金の比較情報として、前計算期間末の剰余金又は欠損金を開示しております。

## (中間貸借対照表に関する注記)

項目		前計算期間末 2018年 8月10日現在	当中間計算期間末 2019年 2月10日現在
1.	計算期間末日および中間計算期間末日における受益権の総数	32,901,462口	35,206,429口
2.	元本の欠損	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は481,536円です。	中間貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は1,761,125円です。
3.	計算期間末日および中間計算期間末日における1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.9854円 (9,854円)	0.9500円 (9,500円)

## (中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

前中間計算期間 自 2017年 8月11日 至 2018年 2月10日	当中間計算期間 自 2018年 8月11日 至 2019年 2月10日
信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額 報酬対象期間の日々におけるベビーファンドの信託財産に属する当該マザーファンドの受益証券の純資産総額に年率0.156%以内を乗じて日割り計算し、当該報酬対象期間に応じて合計した金額	信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額 同左

## （金融商品に関する注記）

## 金融商品の時価等に関する事項

項目	前計算期間末 2018年 8月10日現在	当中間計算期間末 2019年 2月10日現在
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	金融商品は原則として全て時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	金融商品は原則として全て時価評価されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	<p>(1)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済されることから、帳簿価額は時価と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。</p> <p>(2)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「1.有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。</p> <p>(3)デリバティブ取引 デリバティブ取引等に関する注記に記載しております。</p>	<p>(1)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左</p> <p>(2)有価証券 売買目的有価証券 同左</p> <p>(3)デリバティブ取引 同左</p>

## （デリバティブ取引等に関する注記）

該当事項はありません。

## （その他の注記）

項目	前計算期間 自 2017年 8月11日 至 2018年 8月10日	当中間計算期間 自 2018年 8月11日 至 2019年 2月10日
元本の推移		
期首元本額	27,305,936円	32,901,462円
期中追加設定元本額	14,016,204円	5,036,770円
期中一部解約元本額	8,420,678円	2,731,803円

（参考）

当ファンドは「UBSディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同ファンドの受益証券です。

なお、同ファンドの状況は以下の通りです。

「UBSディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は監査の対象外です。

## UBSディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド

### 貸借対照表

	（単位：円）	
	2018年 8月10日現在	2019年 2月10日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
預金	118,768,088	184,533,421
コール・ローン	68,306,388	118,000,066
投資信託受益証券	2,125,270,520	1,824,296,344
投資証券	933,478,064	776,294,363
派生商品評価勘定	6,962,961	260,765
未収入金	127,558,000	-
流動資産合計	3,380,344,021	2,903,384,959
資産合計	3,380,344,021	2,903,384,959
<b>負債の部</b>		
流動負債		
派生商品評価勘定	12,357	1,518,431
未払解約金	28,300,000	22,160,000
未払利息	192	332
流動負債合計	28,312,549	23,678,763
負債合計	28,312,549	23,678,763
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	1,906,990,140	1,690,962,455
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	1,445,041,332	1,188,743,741
元本等合計	3,352,031,472	2,879,706,196
純資産合計	3,352,031,472	2,879,706,196
負債純資産合計	3,380,344,021	2,903,384,959

### 注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1) 投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p> <p>(2) 投資証券</p>
--------------------	--



	<p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、投資証券の基準価額または金融商品取引所における最終相場(最終相場のないものについては、それに準ずる価額)、または金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p>
2.デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として、わが国における開示対象ファンドの中間期末日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。</p>
3.外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	<p>信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における開示対象ファンドの中間期末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。</p>
4.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>(1)外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定および外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p> <p>(2)金融商品の時価に関する補足情報</p> <p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>

## (貸借対照表に関する注記)

項目		2018年 8月10日現在	2019年 2月10日現在
1.	開示対象ファンドの期末日および中間期末日における受益権の総数	1,906,990,140口	1,690,962,455口
2.	開示対象ファンドの期末日および中間期末日における1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.7578円  (17,578円)	1.7030円  (17,030円)

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の時価等に関する事項

項目	2018年 8月10日現在	2019年 2月10日現在
1.貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	金融商品は原則として全て時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左

2. 金融商品時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	<p>(1)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済されることから、帳簿価額は時価と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。</p> <p>(2)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「1.有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。</p> <p>(3)デリバティブ取引 デリバティブ取引等に関する注記に記載しております。</p>	<p>(1)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左</p> <p>(2)有価証券 売買目的有価証券 同左</p> <p>(3)デリバティブ取引 同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	デリバティブ取引に関する事項についての契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。	同左

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

通貨関連

(2018年 8月10日現在)

区分	種類	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
			うち1年超(円)		
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建				
	米ドル	16,630,857	-	16,618,500	12,357
	売建				
	米ドル	2,291,101,328	-	2,289,545,350	1,555,978
	ユーロ	283,384,827	-	278,843,800	4,541,027
	イギリス・ポンド	38,578,106	-	37,712,150	865,956
合計		2,629,695,118	-	2,622,719,800	6,950,604

(2019年 2月10日現在)

区分	種類	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
			うち1年超(円)		
市場取引以外	為替予約取引				

の取引	売建				
	米ドル	1,825,965,469	-	1,827,483,900	1,518,431
	ユーロ	232,833,775	-	232,833,700	75
	イギリス・ポンド	28,686,690	-	28,426,000	260,690
	合計	2,087,485,934	-	2,088,743,600	1,257,666

## (注1)時価の算定方法

## 為替予約の時価

1. 開示対象ファンドの期末日および中間期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については以下のよう評価しております。

開示対象ファンドの期末日および中間期末日において為替予約の受渡日(以下「当該日」といいます。)の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該対顧客先物売買相場の仲値により評価しております。

開示対象ファンドの期末日および中間期末日において当該日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は以下の方法によっております。

イ) 開示対象ファンドの期末日および中間期末日に当該日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後2つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算したレートにより評価しております。

ロ) 開示対象ファンドの期末日および中間期末日に当該日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値により評価しております。

2. 開示対象ファンドの期末日および中間期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、開示対象ファンドの期末日および中間期末日の対顧客電信売買相場の仲値により評価しております。

(注2)デリバティブ取引にヘッジ会計は適用されておりません。

## (その他の注記)

項目	自 2017年 8月11日 至 2018年 8月10日	自 2018年 8月11日 至 2019年 2月10日
1. 元本の推移		
本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	3,116,070,935円	1,906,990,140円
期中追加設定元本額	8,534,062円	2,812,911円
期中一部解約元本額	1,217,614,857円	218,840,596円
2. 開示対象ファンドの期末日および中間期末日における元本の内訳		
UBS DCコア戦略ファンド	18,393,115円	19,600,059円
UBSコア・コンサバティブ・ファンド	1,888,597,025円	1,671,362,396円
合計	1,906,990,140円	1,690,962,455円

## 2【ファンドの現況】

以下のファンドの現況は2019年 2月28日現在です。

## 【UBS DCコア戦略ファンド】

## 【純資産額計算書】

資産総額	35,379,908円
負債総額	15,100円
純資産総額（ - ）	35,364,808円
発行済口数	36,955,160口
1口当たり純資産額（ / ）	0.9570円

（参考）

## UBSディフェンシブ・インベストメント・マザーファンド

## 純資産額計算書

資産総額	2,856,728,521円
負債総額	809,885円
純資産総額（ - ）	2,855,918,636円
発行済口数	1,663,789,006口
1口当たり純資産額（ / ）	1.7165円

## 第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

## (1) 名義書換

受益者は、委託会社がやむを得ない事情などにより受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求を行なわないものとします。

## (2) 受益者に対する特典

該当事項はありません。

## (3) 譲渡制限の内容

譲渡制限はありません。

## 受益権の譲渡

- ・受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。
- ・前述の申請のある場合には、振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社債、株式等の振替に関する法律の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行なわれるよう通知するものとします。
- ・前述の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている

振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合などにおいて、委託会社が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

#### 受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

#### (4) 受益証券の再発行

受益者は、委託会社がやむを得ない事情などにより受益証券を発行する場合を除き、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。

#### (5) 受益権の再分割

委託会社は、受託会社と協議のうえ、社債、株式等の振替に関する法律に定めるところにしたがい、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

#### (6) 質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、解約請求の受付、解約金および償還金の支払いなどについては、約款の規定によるほか、民法その他の法令などにしたがって取り扱われます。

### 第三部【委託会社等の情報】

#### 第1【委託会社等の概況】

##### 1【委託会社等の概況】

###### (1) 資本金の額等

2019年2月末現在の委託会社の資本金の額：	2,200,000,000円
委託会社が発行する株式総数：	86,400株
発行済株式総数：	21,600株
最近5年間における資本金の額の増減：	該当事項はありません。

###### (2) 委託会社等の機構

###### 経営体制

###### (取締役会)

委託会社の業務執行上重要な事項は、取締役会の決議によってこれを決定します。

取締役会は、法令に別段の定めがある場合を除き、社長がこれを招集し、その通知は会日の少なくとも3日前に各取締役および各監査役に対して発します。ただし、緊急の必要あるときは、取締役および監査役全員の同意を得て、招集の手続を省略することができます。

取締役会の決議は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役の過半数が出席し、その出席取締役の過半数をもってこれを行います。

取締役会の議長には、社長が当たります。社長がその職務にあたれない場合は、他の取締役で、取締役の順序において上位にある者がその任に当たります。

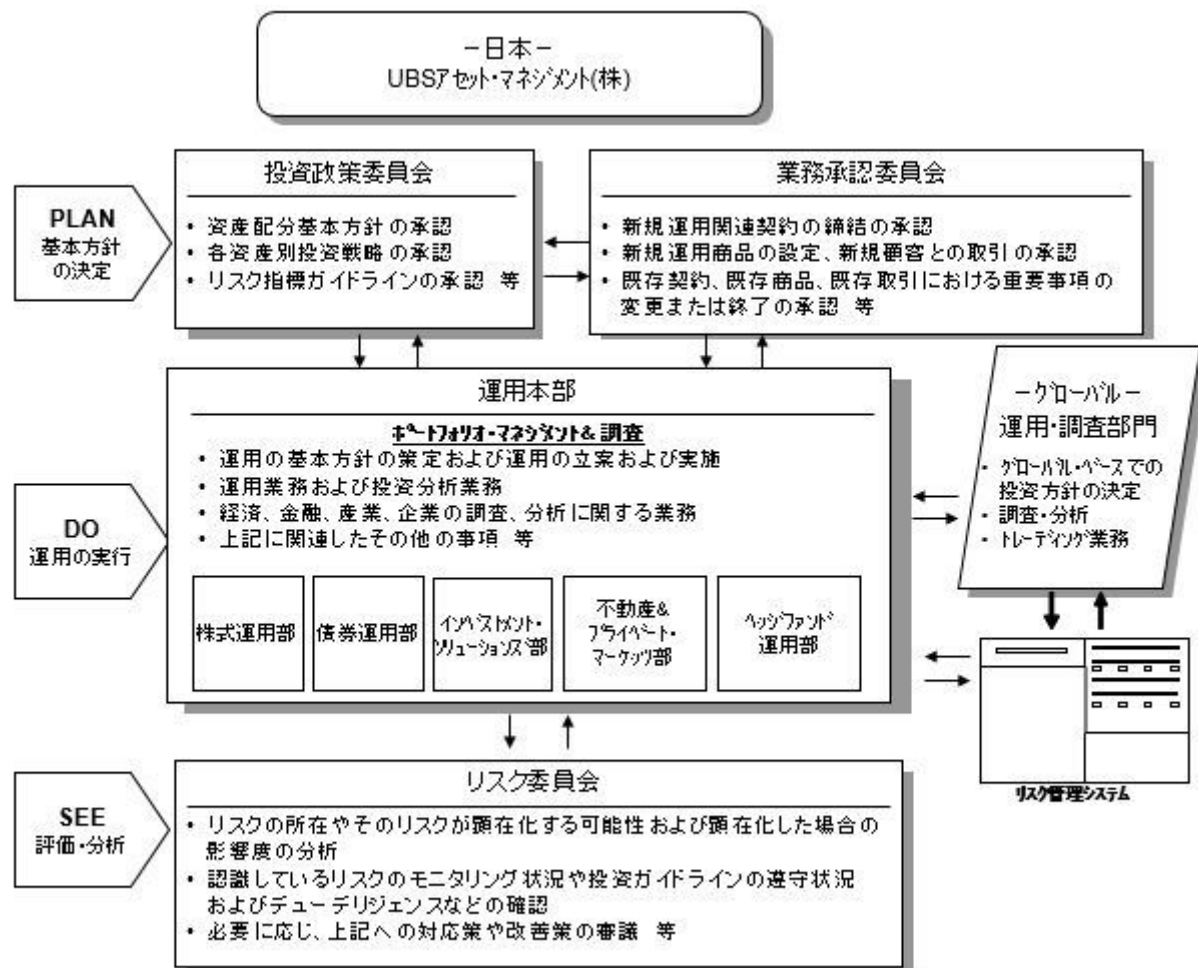
###### (代表取締役および役付取締役)

代表取締役は、取締役会の決議によって選定します。

代表取締役は、会社を代表し取締役会の決議に従い業務を執行します。

取締役会の決議をもって取締役の中から会長、社長、副社長、およびその他役付取締役若干名を定めることができます。

###### 投資運用の意思決定機構



2019年2月末現在

## 2【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託者は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用及び投資一任契約に基づき委任された資産の運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業及び投資助言業を行っています。

委託会社の運用する証券投資信託は2019年2月末現在、以下のとおりです。（ただし、親投資信託は除きます。）

ファンドの種類	本数	純資産総額（百万円）
単位型株式投資信託	13	44,348
追加型株式投資信託	82	869,627
合計	95	913,975

## 3【委託会社等の経理状況】

### 1. 財務諸表の作成方法について

当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。また、記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

### 2. 監査証明について

当社は、「金融商品取引法」第193条の2第1項の規定に基づき、当事業年度（2018年1月1日から2018年12月31日まで）の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人により監査を受けております。

## (1)【貸借対照表】

期別		前事業年度 (2017年12月31日)		当事業年度 (2018年12月31日)	
科目	注記 番号	内訳	金額 (千円)	内訳	金額 (千円)
<b>(資産の部)</b>					
<b>流動資産</b>					
現金・預金	*1		3,719,875		3,506,883
未収入金	*1		99,677		58,517
未収委託者報酬			608,627		1,143,245
未収運用受託報酬	*1		1,782,978		2,050,817
その他未収収益	*1		586,151		571,116
前払費用			12,225		16,682
繰延税金資産			267,900		223,400
その他			2,496		512
			7,079,932		7,571,175
<b>流動資産計</b>					
<b>固定資産</b>					
投資その他の資産			258,700		205,500
投資有価証券		200		100	
繰延税金資産		238,499		185,399	
ゴルフ会員権		20,000		20,000	
			258,700		205,500
<b>固定資産計</b>					
<b>資産合計</b>					
			7,338,632		7,776,676

期別		前事業年度 (2017年12月31日)		当事業年度 (2018年12月31日)	
科目	注記 番号	内訳	金額 (千円)	内訳	金額 (千円)
<b>(負債の部)</b>					
<b>流動負債</b>					
預り金			57,328		61,156
未払費用	*1		1,565,280		1,841,768
未払消費税			114,988		146,096
未払法人税等			371,144		508,920
賞与引当金			739,529		597,449
その他			17,221		46,332
			2,865,493		3,201,722
<b>流動負債計</b>					
<b>固定負債</b>					
退職給付引当金			32,350		45,752
			32,350		45,752
<b>固定負債計</b>					
<b>負債合計</b>					
			2,897,843		3,247,475
<b>(純資産の部)</b>					
<b>株主資本</b>					
資本金			4,440,788		4,529,200
利益剰余金			2,240,788		2,329,200
利益準備金		550,000		550,000	
その他利益剰余金		1,690,788		1,779,200	
繰越利益剰余金		1,690,788		1,779,200	
評価・換算差額等			0		0



その他有価証券評価差額金		0		0
純資産合計			4,440,788	4,529,200
負債・純資産合計			7,338,632	7,776,676

## (2)【損益計算書】

期別	注記 番号	前事業年度 (自 2017年 1月 1日 至 2017年12月31日)		当事業年度 (自 2018年 1月 1日 至 2018年12月31日)	
		内訳	金額 (千円)	内訳	金額 (千円)
営業収益					
委託者報酬			7,553,192		7,631,579
運用受託報酬	*1*2		3,264,567		3,576,959
その他営業収益	*1*3		1,818,040		2,075,804
営業収益計			12,635,800		13,284,344
営業費用					
支払手数料			3,942,239		3,798,816
広告宣伝費			105,687		87,432
調査費			113,392		101,676
営業雑経費			93,526		93,408
通信費		8,307		4,067	
印刷費		64,844		61,318	
協会費		16,642		16,503	
その他	*1	3,731		11,520	
営業費用計			4,254,845		4,081,334
一般管理費					
給料			2,672,661		2,555,201
役員報酬		206,524		315,203	
給料・手当	*1	1,821,359		1,784,362	
賞与		644,777		455,635	
交際費			22,847		21,741
旅費交通費			94,852		85,763
租税公課			75,054		80,028
不動産賃借料			233,280		236,883
退職給付費用			69,860		234,506
事務委託費	*1		2,869,133		3,174,782
諸経費			80,139		99,018
一般管理費計			6,117,829		6,487,925
営業利益			2,263,125		2,715,083
営業外収益					
受取利息		4		9	
雑収入		93		1,039	
営業外収益計			98		1,048
営業外費用					
為替差損		32,200		44,039	
雑損失		353		0	
営業外費用計			32,553		44,039
経常利益			2,230,670		2,672,092
税引前当期純利益			2,230,670		2,672,092
法人税、住民税及び事業税			654,253		796,961
法人税等調整額			60,600		97,600

当期純利益			1,515,817		1,777,531
-------	--	--	-----------	--	-----------

## (3)【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自 2017年1月1日 至 2017年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	利益剰余金				その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		利益 準備金	その他 利益剰余金 繰越 利益剰余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	2,200,000	550,000	1,108,091	1,658,091	3,858,091	39	39	3,858,051
当期中の変動額								
剰余金の配当			933,120	933,120	933,120			933,120
当期純利益			1,515,817	1,515,817	1,515,817			1,515,817
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)						40	40	40
当期中の変動額合計			582,697	582,697	582,697	40	40	582,737
当期末残高	2,200,000	550,000	1,690,788	2,240,788	4,440,788	0	0	4,440,788

当事業年度(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	利益剰余金				その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		利益 準備金	その他 利益剰余金 繰越 利益剰余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	2,200,000	550,000	1,690,788	2,240,788	4,440,788	0	0	4,440,788
当期中の変動額								
剰余金の配当			1,689,120	1,689,120	1,689,120			1,689,120
当期純利益			1,777,531	1,777,531	1,777,531			1,777,531
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)						0	0	0
当期中の変動額合計			88,411	88,411	88,411	0	0	88,411
当期末残高	2,200,000	550,000	1,779,200	2,329,200	4,529,200	0	0	4,529,200

## [注記事項]

## (重要な会計方針)

## 1. 有価証券の評価基準及び評価方法

## (1) その他有価証券

## 時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。)

## 2. 引当金の計上基準

## (1) 賞与引当金

役員及び従業員の賞与支払に備えるため、支給見込額を計上しております。

## (2) 退職給付引当金

退職給付引当金は役員及び従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込み額に基づき、必要額を計上しております。

退職給付引当金のうち、役員分は次のとおりであります。

前事業年度 (2017年12月31日)	当事業年度 (2018年12月31日)
829千円	1,131千円

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異の費用処理方法

数理計算上の差異は、発生年度に全額損益処理しております。

### 3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

#### (1) 消費税等の処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

#### (未適用の会計基準等)

##### 1. 税効果会計

「税効果会計にかかる会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 平成30年2月16日)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成30年2月16日)

##### (1) 概要

個別財務諸表における子会社株式等に係る将来加算一時差異の取扱いが見直され、また(分類1)に該当する企業における繰延税金資産の回収可能性に関する取扱いの明確化が行われております。

##### (2) 適用予定日

2019年12月期の期首より適用予定であります。

##### (3) 当該会計基準等の適用による影響

「税効果会計にかかる会計基準の適用指針」等の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

##### 2. 収益認識

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 平成30年3月30日 企業会計基準委員会)

「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 平成30年3月30日 企業会計基準委員会)

##### (1) 概要

国際会計基準審議会(IASB)及び米国財務会計基準審議会(FASB)は、共同して収益認識に関する包括的な会計基準の開発を行い、平成26年5月に「顧客との契約から生じる収益」(IASBにおいてはIFRS第15号、FASBにおいてはTopic606)を公表しており、IFRS第15号は平成30年1月1日以後開始する事業年度から、Topic606は平成29年12月15日より後に開始する事業年度から適用される状況を踏まえ、企業会計基準委員会において、収益認識に関する包括的な会計基準が開発され、適用指針と合わせて公表されたものです。

企業会計基準委員会の収益認識に関する会計基準の開発にあたっての基本的な方針として、IFRS第15号と整合性を図る便益の一つである財務諸表間の比較可能性の観点から、IFRS第15号の基本的な原則を取り入れることを出発点とし、会計基準を定めることとされ、また、これまで我が国で行われてきた実務等に配慮すべき項目がある場合には、比較可能性を損なわせない範囲で代替的な取扱いを追加することとされております。

##### (2) 適用予定日

2022年12月期の期首より適用予定であります。

##### (3) 当該会計基準等の適用による影響

「収益認識に関する会計基準」等の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

## (貸借対照表関係)

## \*1 関係会社に対する資産及び負債

各科目に含まれる関係会社に対する資産及び負債の内容は、次の通りであります。

(単位：千円)

	前事業年度 (2017年12月31日)	当事業年度 (2018年12月31日)
現金・預金	491,408	1,439,141
未収入金	2,073	13,143
未収運用受託報酬	9	8
その他未収収益	164,575	155,367
未払費用	278,614	61,627

## (損益計算書関係)

## \*1 関係会社との取引

各科目に含まれる関係会社に対する取引額は、次の通りであります。

(単位：千円)

	前事業年度 自 2017年 1月 1日 至 2017年12月31日	当事業年度 自 2018年 1月 1日 至 2018年12月31日
運用受託報酬	186,422	52
その他営業収益	229,742	297,077
営業雑経費その他	2,310	499
人件費	2,319	2,184
事務委託費	737,791	478,464

## \*2 運用受託報酬には、次のものを含んでおります。

(単位：千円)

	前事業年度 自 2017年 1月 1日 至 2017年12月31日	当事業年度 自 2018年 1月 1日 至 2018年12月31日
投資助言報酬	163,225	73,466

## \*3 その他営業収益には、海外ファンドの販売資料及び運用報告書等の作成や翻訳など運用業務以外に関するサービスの提供に伴う報酬を計上しております。

## (株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 2017年1月1日 至 2017年12月31日)

## 1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	21,600	-	-	21,600

## 2. 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額(千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2017年3月31日 定時株主総会	普通株式	933,120	43,200	2016年12月31日	2017年4月1日

## (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

次のとおり、決議を予定しております。

決議	株式の 種類	配当の 原資	配当金の 総額(千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
----	-----------	-----------	----------------	-----------------	-----	-------

第23期定時 株主総会	普通株式	利益 剰余金	1,689,120	78,200	2017年12月31日	第23期定時 株主総会の翌日
----------------	------	-----------	-----------	--------	-------------	-------------------

当事業年度(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	21,600	-	-	21,600

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額(千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2018年3月28日 定時株主総会	普通株式	1,689,120	78,200	2017年12月31日	2018年3月29日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの  
次のとおり、決議を予定しております。

決議	株式の 種類	配当の 原資	配当金の 総額(千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
第24期定時 株主総会	普通株式	利益 剰余金	368,000	17,037	2018年12月31日	第24期定時 株主総会の翌日

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定しております。

現在、金融機関及びその他からの借入はありません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

未収委託者報酬は、既にファンドの純資産額に未払委託者報酬として織り込まれ、受託者によって分別保管された投資信託財産が裏付けとなっていることから、信用リスクはほとんどないものと考えています。

未収運用受託報酬につきましても、未収委託者報酬と同様に、年金信託勘定との投資一任契約により分別管理されている信託財産が裏付けとなっていることから、信用リスクはほとんどないものと考えています。

その他未収収益は、取引相手先を信用力の高い金融機関に限定しているため、信用リスクはほとんどないものと考えています。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

前事業年度(2017年12月31日)

(単位:千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
現金・預金	3,719,875	3,719,875	-
未収入金	99,677	99,677	-
未収委託者報酬	608,627	608,627	-
未収運用受託報酬	1,782,978	1,782,978	-
その他未収収益	586,151	586,151	-
資産計	6,797,310	6,797,310	-
未払費用	1,565,280	1,565,280	-
未払法人税等	371,144	371,144	-
負債計	1,936,424	1,936,424	-

当事業年度(2018年12月31日)

(単位:千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
現金・預金	3,506,883	3,506,883	-
未収入金	58,517	58,517	-
未収委託者報酬	1,143,245	1,143,245	-
未収運用受託報酬	2,050,817	2,050,817	-
その他未収収益	571,116	571,116	-
資産計	7,330,580	7,330,580	-
未払費用	1,841,768	1,841,768	-
未払法人税等	508,920	508,920	-
負債計	2,350,688	2,350,688	-

## (注)1. 金融商品の時価の算定方法

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、すべて帳簿価額により表示しております。

## (注)2. 金銭債権の決算日後の償還予定額

前事業年度(2017年12月31日)

(単位:千円)

	1年以内	1年超
現金・預金	3,719,875	-
未収入金	99,677	-
未収委託者報酬	608,627	-
未収運用受託報酬	1,782,978	-
その他未収収益	586,151	-
合計	6,797,310	-

当事業年度(2018年12月31日)

(単位:千円)

	1年以内	1年超
現金・預金	3,506,883	-
未収入金	58,517	-
未収委託者報酬	1,143,245	-
未収運用受託報酬	688,306	1,362,511
その他未収収益	571,116	-
合計	5,968,069	1,362,511

## (有価証券関係)

その他有価証券

前事業年度(2017年12月31日)

重要性がないため記載を省略しております。

当事業年度(2018年12月31日)

重要性がないため記載を省略しております。

## (退職給付関係)

前事業年度(自 2017年1月1日 至 2017年12月31日)

## 1. 採用している制度の概要

当社は規約型確定給付企業年金制度並びに確定拠出年金制度を採用しております。

当社の確定給付企業年金契約は、当社、UBS証券株式会社及びUBS銀行東京支店との共同結合契約であり、年金資産の計算は退職給付債務の比率によっております。

## 2. 確定給付制度

## (1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

(単位:千円)

退職給付債務の期首残高	1,136,659
-------------	-----------

勤務費用	131,944
利息費用	4,792
数理計算上の差異の当期発生額	37,097
退職給付の支払額	149,929
過去勤務費用の当期発生額	-
退職給付債務の期末残高	1,086,368

## (2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

(単位：千円)

年金資産の期首残高	993,530
期待運用収益	4,695
数理計算上の差異の当期発生額	67,527
事業主からの拠出額	138,195
退職給付の支払額	149,929
年金資産の期末残高	1,054,018

## (3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

(単位：千円)

積立型制度の退職給付債務	1,086,368
年金資産	1,054,018
小計	32,350
非積立型制度の退職給付債務	-
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	32,350
退職給付引当金	32,350
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	32,350

## (4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

(単位：千円)

勤務費用	131,944
利息費用	4,792
期待運用収益	4,695
数理計算上の差異の費用処理額	104,624
過去勤務費用の費用処理額	-
確定給付制度に係る退職給付費用	27,415

(注) 上記の他、特別退職金18,475千円を退職給付費用として処理しております。

## (5) 年金資産に関する事項

年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

債券	36%
株式	19%
その他	45%
合計	100%

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

## (6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

割引率 0.486%

長期期待運用収益率 0.58%

### 3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、23,970千円でありました。

当事業年度（自 2018年1月1日 至 2018年12月31日）

#### 1. 採用している制度の概要

当社は規約型確定給付企業年金制度並びに確定拠出年金制度を採用しております。

当社の確定給付企業年金契約は、当社、UBS証券株式会社及びUBS銀行東京支店との共同結合契約であり、年金資産の計算は退職給付債務の比率によっております。

#### 2. 確定給付制度

##### (1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

(単位：千円)

退職給付債務の期首残高	1,086,368
勤務費用	126,106
利息費用	4,529
数理計算上の差異の当期発生額	33,730
退職給付の支払額	97,516
過去勤務費用の当期発生額	-
退職給付債務の期末残高	1,085,756

##### (2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

(単位：千円)

年金資産の期首残高	1,054,018
期待運用収益	5,217
数理計算上の差異の当期発生額	54,968
事業主からの拠出額	133,252
退職給付の支払額	97,516
年金資産の期末残高	1,040,003

##### (3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

(単位：千円)

積立型制度の退職給付債務	1,085,756
年金資産	1,040,003
小計	45,752
非積立型制度の退職給付債務	-
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	45,752
退職給付引当金	45,752
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	45,752

##### (4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

(単位：千円)

勤務費用	126,106
利息費用	4,529
期待運用収益	5,217
数理計算上の差異の費用処理額	18,868
過去勤務費用の費用処理額	-
確定給付制度に係る退職給付費用	144,285

(注)上記の他、特別退職金65,358千円を退職給付費用として処理しております。

##### (5) 年金資産に関する事項

年金資産の主な内訳



年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

債券	38%
株式	16%
その他	46%
合計	100%

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

割引率 0.450%

長期期待運用収益率 0.58%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、24,862千円でありました。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産の発生 の 主な原因別の内訳

(単位：千円)

	前事業年度 (2017年12月31日)	当事業年度 (2018年12月31日)
繰延税金資産		
未払費用	19,700	15,200
減価償却超過額	20,400	11,600
未払事業税	20,100	23,000
株式報酬費用	129,000	85,300
退職給付引当金	57,100	61,000
賞与引当金	228,200	183,000
その他	31,900	29,700
繰延税金資産小計	506,400	408,800
評価性引当額	-	-
繰延税金資産合計	506,400	408,800
繰延税金負債		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延税金負債合計	0	0
繰延税金資産純額	506,399	408,799

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異の原因となった主要な項目別内訳

	前事業年度 (2017年12月31日)	当事業年度 (2018年12月31日)
法定実効税率	30.86%	30.86%
(調整)		
交際費等永久に損金に算入されない項目	2.51%	2.08%
税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	0.07%	0.00%
その他	1.25%	0.54%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	32.05%	33.48%

(セグメント情報等)

1. セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 2. 関連情報

### (1) 製品及びサービスごとの情報

当社の製品・サービス区分は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

### (2) 地域に関する情報

#### 営業収益

前事業年度（自 2017年1月1日 至 2017年12月31日）

日本	米国	その他	合計
2,640,642千円	1,288,034千円	1,153,931千円	5,082,607千円

当事業年度（自 2018年1月1日 至 2018年12月31日）

日本	米国	その他	合計
3,413,013千円	1,277,515千円	962,235千円	5,652,764千円

(注) 営業収益は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

委託者報酬については、制度上顧客情報を知りえないため、記載を省略しております。

### (3) 主要な顧客に関する情報

前事業年度（自 2017年1月1日 至 2017年12月31日）

相手先	売上高	関連するセグメント名
UBSグループ(*1)	2,272,388千円	投資運用

当事業年度（自 2018年1月1日 至 2018年12月31日）

相手先	売上高	関連するセグメント名
UBSグループ(*1)	2,092,822千円	投資運用

(注) 運用受託報酬について、契約上の守秘義務を踏まえて、一部顧客に関する記載を省略しております。

委託者報酬については、制度上顧客情報を知りえないため、記載を省略しております。

(\*1) UBSグループは、世界50カ国余りにおける大手企業や機関投資家のお客様に対し、グローバルなネットワークと専門性を駆使し、事業拡大、リスク管理、投資戦略など、ニーズに沿ったアドバイスと優れた執行能力を提供しております。

## (関連当事者情報)

### 1. 関連当事者との取引

前事業年度（自 2017年1月1日 至 2017年12月31日）

#### (1) 親会社

属性	会社等の名称	所在地	資本金 又は 出資金	事業の 内容 又は職業	議決権 の所有 (被所有) 割合	関連当 事者との 関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親	UBS AG (最終親会社である UBS Group AGはNYSE及	スイス・	3.8億			金銭の預 入れ、資 産運用業	金銭の預入れ		現金・預金	491,408
							増加	5,833,063		
							減少	6,459,229		
						運用受託報酬	186,422	未収入金	2,073	

会社	びSIXに上場、UBS Asset Management AGは非上場)	チューリッヒ	スイスフラン	銀行、証券業務	(被所有)間接100%	務及びそれに関する事務委託等、人件費	その他営業収益 その他営業費用 事務委託費 不動産関係費(受取) 人件費	229,742	未収運用受託報酬	9
								2,975	その他未収収益	164,575
								737,791	未払費用	278,614
								665		
							2,319			

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

1. 人件費は、出向者等に対する実際支払額を基として決定しております。
2. 取引条件の決定については、一般取引条件と同様に決定しております。

上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれておりません。

## (2) 兄弟会社等

属性	会社等の名称	所在地	資本金 又は 出資金	事業の 内容 又は 職業	議決権 の所有 (被所有)割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
親 会 社 の 子 会 社 等	UBS Switzerland AG	スイス・ チュー リッヒ	10百万 スイス フラン	銀行 業務	なし	金銭の預入れ	金銭の預入れ 増加 減少	164,119 208,766	現金・預金	24,418
	UBS証券 株式会社	東京都 千代田区 大手町	321 億円	証券業	なし	人件費の立替 人件費、 社会保険料 などの立替	事務委託費 不動産関係費 人件費(受取) 人件費	201,287 224,391 108,562 7,800	未収入金 未払費用	34,377 217,221
	UBS Asset Management (Australia) Ltd	オースト ラリア・ シドニー	40百万 オースト ラリアド ル	資産 運用業	なし	兼業業務 資産運用業務及び、 それに関する 事務委託等	その他営業収益 事務委託費	113,277 141,397	未収入金 その他未収収益 未払費用	51,971 16,548 75,784
	UBS Asset Management (Singapore) Ltd	シンガ ポール	3.9百万 シンガ ポールド ル	資産 運用業	なし	兼業業務 資産運用業務及び、 それに関する 事務委託等	運用受託報酬 その他営業収益 事務委託費	90,331 61,898 147,077	未収運用受託報酬 未払費用	80,793 12,489
	UBS Asset Management (UK) Ltd	英国・ ロンドン	125百万 英国 ポンド	資産 運用業	なし	兼業業務 資産運用業務及び、 それに関する 事務委託等	その他営業収益 事務委託費	201,619 1,097,519	その他未収収益 未払費用	48,968 498,975
	UBS Asset Management (Americas) Inc.	米国・ ウィルミ ントン	1米国 ドル	資産 運用業	なし	兼業業務 資産運用業務及び、 それに関する 事務委託等	運用受託報酬 その他営業収益 事務委託費	85,385 245,967 227,617	その他未収収益 未払費用	82,849 136,776
	UBS Hedge Fund Solutions LLC	米国・ ウィルミ ントン	10万 米国 ドル	資産 運用業	なし	兼業業務	その他営業収益	916,470	その他未収収益	253,895

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

1. 事務所賃借料は、外部貸主への実際支払額を基に面積比で決定しております。  
人件費は、出向者等に対する実際支払額を基として決定しております。

- 立替費用は、第三者に支払われた実際支払額を基として決定しております。
- 取引条件の決定については、一般取引条件と同様に決定しております。

上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれておりません。

当事業年度（自 2018年1月1日 至 2018年12月31日）

(1) 親会社

属性	会社等の名称	所在地	資本金 又は 出資金	事業の 内容 又は職業	議決権 の所有 (被所有) 割合	関連当 事者との 関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	UBS AG (最終親会社である UBS Group AGはNYSE及 びSIXに上 場、UBS Asset Management AGは非上 場)	スイス・ チューリッ ヒ	3.8億 スイス フラン	銀行、 証券業務	(被所有) 間接100%	金銭の預 入れ、資 産運用業 務及びそ れに關す る事務委 託等、人 件費	金銭の預入れ		現金・預金	1,439,141
							増加	8,890,639		
							減少	7,942,906		
							運用受託報酬	52	未収入金	13,143
その他営業収益	297,077	未収運用受託報酬	8							
事務委託費	478,464	その他未収収益	155,367							
不動産関係費(受取)	499	未払費用	61,627							
人件費	2,184									

取引条件及び取引条件の決定方針等

- 人件費は、出向者等に対する実際支払額を基として決定しております。
- 取引条件の決定については、一般取引条件と同様に決定しております。

上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれておりません。

(2) 兄弟会社等

属性	会社等の名称	所在地	資本金 又は 出資金	事業の 内容 又は職業	議決権 の所有 (被所有) 割合	関連当 事者との 関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	UBS Switzerland AG	スイス・ チューリッ ヒ	10百万 スイス フラン	銀行 業務	なし	金銭の預入れ	金銭の預入れ			
							増加	88,949	-	-
							減少	113,367		
							人件費の立替	321,166	未収入金	20,032
人件費、	234,610	未払費用	241,112							
社会保険料	67,167									
などの立替	184									
兼業業務	112,457	その他未収収益	17,417							
資産運用業務及び、	136,509	未払費用	34,642							
それに関する										
事務委託等										
兼業業務	153,717	その他未収収益	76,557							

社 の 子 会 社 等	Management (Singapore) Ltd	シンガ ポール	シンガ ポールド ル	資産 運用業	なし	資産運用業務及び、 それに関する 事務委託等	事務委託費	95,632	未収入金 未払費用	719 13,061
	UBS Asset Management (UK) Ltd	英国・ ロンドン	125百万 英国 ポンド	資産 運用業	なし	兼業業務 資産運用業務及び、 それに関する 事務委託等	その他営業収益 事務委託費	227,391 1,448,396	その他未収収益 未収入金 未払費用	54,328 3,164 729,550
	UBS Asset Management (Americas) Inc.	米国・ ウィルミ ントン	50米国 ドル	資産 運用業	なし	兼業業務 資産運用業務及び、 それに関する 事務委託等	運用受託報酬 その他営業収益 事務委託費	13,724 426,043 246,486	その他未収収益 未収入金 未払費用	80,382 4,603 69,499
	UBS Hedge Fund Solutions LLC	米国・ ウィルミ ントン	10万 米国 ドル	資産 運用業	なし	兼業業務	その他営業収益	823,942	その他未収収益	174,407

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

1. 事務所賃借料は、外部貸主への実際支払額を基に面積比で決定しております。  
人件費は、出向者等に対する実際支払額を基として決定しております。
2. 立替費用は、第三者に支払われた実際支払額を基として決定しております。
3. 取引条件の決定については、一般取引条件と同様に決定しております。

上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれておりません。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 自 2017年 1月 1日 至 2017年12月31日	当事業年度 自 2018年 1月 1日 至 2018年12月31日
1株当たり純資産額	205,592円08銭	209,685円21銭
1株当たり当期純利益金額	70,176円71銭	82,293円14銭

なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

## (注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 自 2017年 1月 1日 至 2017年12月31日	当事業年度 自 2018年 1月 1日 至 2018年12月31日
当期純利益(千円)	1,515,817	1,777,531
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,515,817	1,777,531
普通株式の期中平均株式数(株)	21,600	21,600

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

- (1) 自己またはその取締役もしくは執行役との間における取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと(投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)

- (2) 運用財産相互間において取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- (3) 通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下（4）、（5）において同じ。）または子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引または金融デリバティブ取引を行なうこと。
- (4) 委託会社の親法人等または子法人等の利益を図るため、その行なう投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額もしくは市場の状況に照らして不必要な取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと。
- (5) 上記（3）、（4）に掲げるもののほか、委託会社の親法人等または子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

## 5【その他】

### (1) 定款の変更

委託会社の定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

### (2) 訴訟事件その他の重要事項

委託会社に重要な影響を与えた事実、または与えると予想される訴訟事件などは発生していません。

## 第2【その他の関係法人の概況】

### 1【名称、資本金の額及び事業の内容】

#### (1) 受託会社

名 称	資本金の額 (2018年9月末現在)	事業の内容
三井住友信託銀行株式会社	342,037百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

#### <再信託受託会社の概要>

名称：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社

資本金の額：51,000百万円（2018年9月末現在）

事業の内容：銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

再信託の目的：原信託契約にかかる信託業務の一部（信託財産の管理）を原信託受託者から再信託受託者（日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）へ委託するため、原信託財産のすべてを再信託受託者へ移管することを目的とします。

#### (2) 販売会社

名 称	資本金の額 (2018年9月末現在)	事業の内容
損保ジャパン日本興亜DC証券株式会社	3,000百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
UBS証券株式会社	32,100百万円	

運用に必要な最低限の資金のために、委託会社およびその関係会社がファンドの買付を行う場合の募集等の取扱いのみを行います。一般投資家向けの募集等の取扱いは行いません。

#### (3) 投資顧問会社

名 称	資本金の額 (2018年12月末現在)	事業の内容
UBSアセット・マネジメント(香港)リミテッド	253百万香港ドル	資産運用に関する業務を営んでいます。

## 2【関係業務の概要】

- (1) 受託会社  
ファンドの信託財産に属する有価証券の管理・計算事務などを行ないます。
- (2) 販売会社  
日本におけるファンドの募集、解約、収益分配金および償還金の取扱いなどを行ないます。
- (3) 投資顧問会社  
委託会社から、マザーファンドの運用指図権限の委託を受け当該ファンドの運用（投資一任）を行ないます。

## 3【資本関係】

- (1) 受託会社  
該当事項はありません。
- (2) 販売会社  
該当事項はありません。
- (3) 投資顧問会社  
該当事項はありません。

## 第3【その他】

- (1) 目論見書の別称として「投資信託説明書（交付目論見書）」または「投資信託説明書（請求目論見書）」という名称を使用します。
- (2) 目論見書の表紙、表紙裏または裏表紙に、以下を記載することがあります。
  - 委託会社の金融商品取引業者登録番号および設立年月日
  - ファンドの基本的性格など
  - 委託会社およびファンドのロゴ・マークや図案など
  - 委託会社のホームページや携帯電話サイトのご案内など
  - 目論見書の使用開始日
- (3) 目論見書の表紙または表紙裏に、以下の趣旨の文章の全部または一部を記載することがあります。
  - 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではない旨。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはならない旨の記載。
  - 投資信託は、元金および利回りが保証されているものではない旨の記載。
  - 投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託を購入されたお客様が負う旨の記載。
  - 「金融商品取引法第13条の規定に基づく目論見書である。」旨の記載。
  - 「ご購入に際しては、目論見書の内容を十分にお読みください。」という趣旨の記載。
  - 請求目論見書の入手方法（ホームページで閲覧、ダウンロードできるなど）についての記載。
  - 請求目論見書は投資者の請求により販売会社から交付される旨および当該請求を行なった場合にはその旨の記録をしておくべきである旨の記載。
  - 「約款が請求目論見書に掲載されている。」旨の記載。
  - 商品内容に関して重大な変更を行なう場合には、投資信託及び投資法人に関する法律に基づき事前に受益者の意向を確認する旨の記載。
  - 投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されている旨の記載。
  - 有価証券届出書の効力発生およびその確認方法に関する記載。
  - 委託会社の情報として記載することが望ましい事項と判断する事項がある場合は、当該事項の記載。
- (4) 交付目論見書の投資リスクに、以下の趣旨の文章の全部または一部を記載することがあります。

ファンドの取引に関して、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用がない旨の記載。

投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではない旨。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはならない旨の記載。

- (5) 有価証券届出書本文「第一部 証券情報」、「第二部 ファンド情報」に記載の内容について、投資者の理解を助けるため、当該内容を説明した図表などを付加して目論見書の当該内容に関連する箇所に記載することがあります。
- (6) 目論見書に約款を掲載し、有価証券届出書本文「第二部 ファンド情報」中「第1 ファンドの状況」「2 投資方針」の詳細な内容につきましては、当該約款を参照する旨を記載することで、目論見書の内容の記載とすることがあります。
- (7) 投信評価機関、投信評価会社などによる評価を取得・使用する場合があります。
- (8) 目論見書は電子媒体などとして使用されるほか、インターネットなどに掲載されることがあります。



## 独立監査人の監査報告書

2019年3月18日

UBSアセット・マネジメント株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 三浦 昇 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているUBSアセット・マネジメント株式会社の2018年1月1日から2018年12月31日までの第24期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、UBSアセット・マネジメント株式会社の2018年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注)1.上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の監査報告書

2018年9月26日

UBSアセット・マネジメント株式会社

取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 鶴田 光夫  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているUBS DCコア戦略ファンドの2017年8月11日から2018年8月10日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、UBS DCコア戦略ファンドの2018年8月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

UBSアセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注)1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の中間監査報告書

2019年3月20日

UBSアセット・マネジメント株式会社

取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 鶴田 光夫  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているUBS DCコア戦略ファンドの2018年8月11日から2019年2月10日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

### 中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、UBS DCコア戦略ファンドの2019年2月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2018年8月11日から2019年2月10日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

### 利害関係

UBSアセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBR Lデータは中間監査の対象には含まれていません。